

令和7年度 仕様書

工事名称 古谷地区公立保育所新築外構工事

工事場所 川越市大字古谷上4009番地13ほか

【工事の大要】

古谷地区公立保育所の新築に伴う外構工事である。

：建築工事 一式

：本工事は、「週休2日制適用工事（現場閉所型）」の対象工事である。

前払金の支払い年度に関する特記仕様書

(趣旨)

第1条 本特記仕様書は、前払金の支払い年度に関して必要な事項を定める。

(適用)

第2条 本特記仕様書は、次の工事に適用するものとする。

工事名 古谷地区公立保育所新築外構工事

工事場所 川越市大字古谷上4009番地13ほか

(前払金の支払い年度)

第3条 請負契約締結後、前払金の支払いについては、令和7年度の支払いは行わないものとする。前払金の請求は、令和8年度以降とする。

«週休2日制適用工事(現場閉所型)に係る特記仕様書»

本工事は「週休2日制適用工事(現場閉所型)」の対象工事である。

本工事は、完全週休2日を採用している。週休2日が守れなかった場合は減額変更となります。

実施は、川越市週休2日制適用工事要領(建築工事)(令和8年1月20日施行)によるものとする。

同要領は、川越市総務部技術管理課ホームページで確認のこと。

川越市総務部技術管理課ホームページ

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/sangyo/nyusatsu/101724/1011747.html> 川越市総務部技術管理課ホームページ

川越市

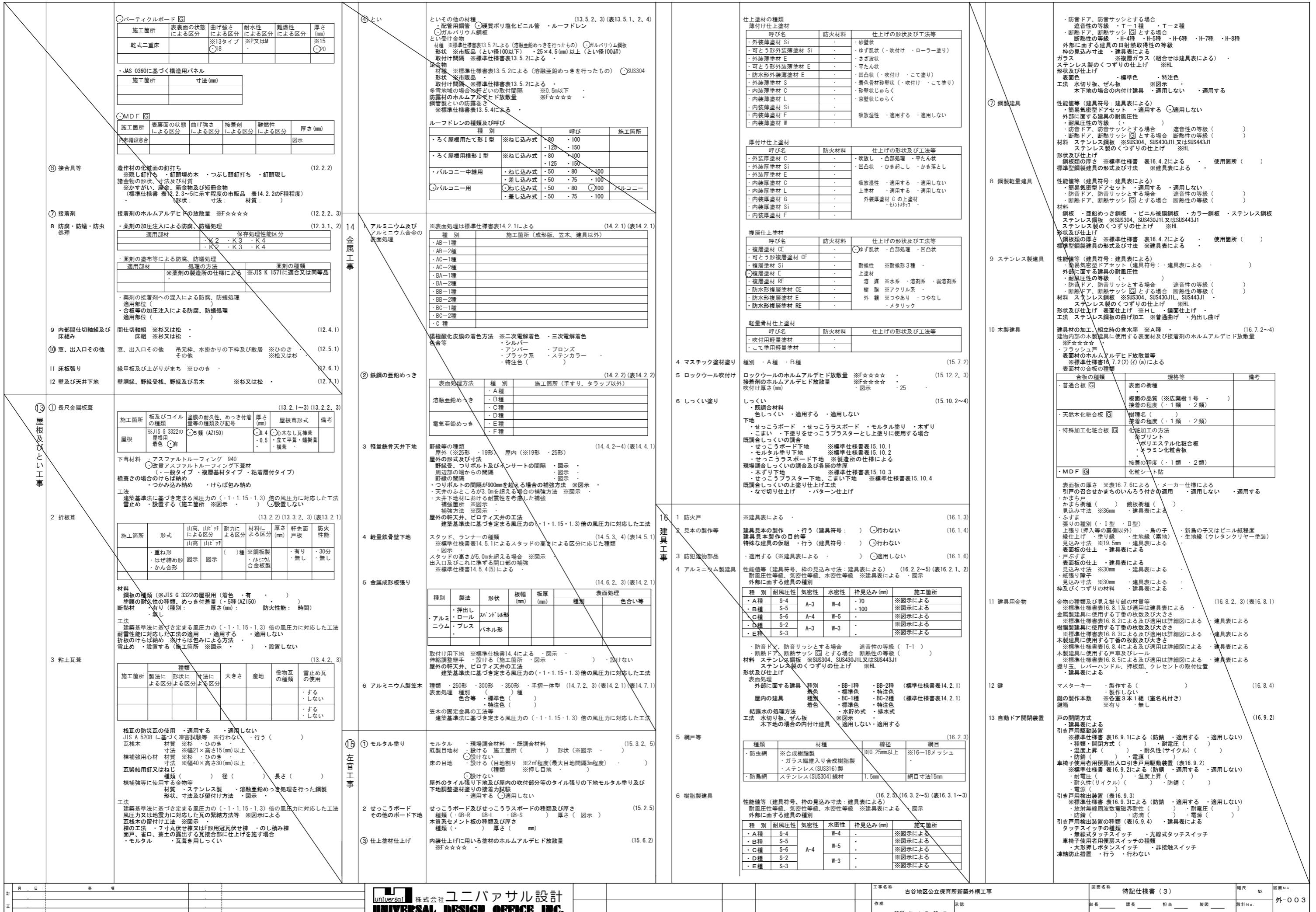
古谷地区公立保育所新築外構工事

図面リスト		
意匠図		
No	図面名称	SCALE (A2)
外-000	表紙・図面リスト	NS
外-001	特記仕様書（1）	NS
外-002	特記仕様書（2）	NS
外-003	特記仕様書（3）	NS
外-004	特記仕様書（4）	NS
外-005	特記仕様書（5）	NS
外-006	特記仕様書（6）	NS
外-007	設計概要・案内図・工事区分表	NS
外-008	敷地求積図	1/200
外-010	外構図	1/200
外-011	雨水排水計画図	1/200
外-013	外構詳細図（1）	図示
外-014	外構詳細図（2）	図示
外-015 確-26	外構詳細図（3）	図示
外-016	外構詳細図（4）	図示
外-017	外構詳細図（5）	図示
外-018	外構詳細図（6）	図示
外-019	外構詳細図（7）	図示
外-020 確-27	駐輪場詳細図	図示
外-030	プール仕様書・本体図	図示
外-031	プール設置図	図示
外-032	プール給水口ボックス	図示
外-033	緑化計画図	1/200
外-034	緑化求積図	1/150

月 日	事 務	事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築外構工事	図面名称	表紙・図面リスト	縮尺	NS	図面No.	
年	月	日	設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合認定書等	作成	2026年1月22日	承認	部長	課長	担当	製圖	設計No. 外-000

工事名	古谷地区公立保育所新築外構工事										
特記仕様書											
I. 工事概要											
1. 工事場所	埼玉県川越市大字古谷上4009番地13、4009番地23、4021番地10、4022番地1、5692番地17 用途地域 指定なし										
2. 敷地面積	1,925.16 m ²										
3. 工事種目	物置、駐輪場、フェンス、門扉、ブール、手洗い・足洗い、園庭、 浸透トレーニング、倒壇、集水樹、舗装等										
4. 工事範囲											
◎「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。 ・「3. 工事種目」のうち、 ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。											
② 仮設工事	※工事範囲全て										
③ 土工事	※工事範囲全て										
④ 地業工事	※工事範囲全て										
⑤ 鉄筋工事	※工事範囲全て										
⑥ コンクリート工事	※工事範囲全て										
⑦ 鉄骨工事	※工事範囲全て										
⑧ コンクリートロッド・A L C ベンチ・押出成形セメント板工事	※工事範囲全て										
⑨ 防水工事	※工事範囲全て										
10 石工事											
11 タイル工事											
12 木工事											
13 屋根及びとい工事											
14 金属工事	※工事範囲全て										
15 左官工事	※工事範囲全て										
16 建具工事	※工事範囲全て										
17 カーテンウォール工事											
18 塗装工事	※工事範囲全て										
19 内装工事	※工事範囲全て										
20 ユニット及びその他の工事	※工事範囲全て										
21 排水工事	○機械設備工事範囲は別途工事										
22 製作工事	※工事範囲全て										
23 植栽及び屋上緑化工事	※工事範囲全て										
II. 建築工事仕様											
(1) 質問回答書、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」及び「建設工事監修指針(国土交通省大臣官房官房監修部監修)」「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」令和7年版」(以下、「標準仕様書」という。)による。 なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。 (2) 標準仕様書で、「記述がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。 (3) 特記仕様書の表記 1) 項目は番号に印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、印の付いたものを適用する。印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 3) 特記事項に記載の()内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。 4) 特記事項に記載の()内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。 5) 製造所名は、五十音順とし、「株式会社」等の記載は省略する。また、()内は製品名を示す。 6) 本工事において、「環境配慮製品等の調達の推進に関する基本方針(令和5年2月24日変更議定決定)」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮製品等の調達方針(新規版)」による特定調達品目のうち、「判断の基準」を満たす環境製品等(以下「特定調達品等」という)を選択するよう努めるものとする。 なお、印は設計図書で定めある品目を示す。											
章	項目	特記事項									
一般共通事項	① 通用基準等	※埼玉県建築工事実務要領に記載の要領等。 ※建築工事監修指針(国土交通省監修) (参考図書) ※建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官房監修部監修令和4年版) なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。									
	② 条件明示事項	保険の種類 [1.1.3] ※法定外の労災保険(工事に従事する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの) ※建設工事保険等(工事目的物及び工事材料等を対象とするもの) ※請負業者の賃借責任保険等 保険の期間 ※工事完成日後14日を含む期間									
	③ 工事実績情報システムコリニスへの登録	※行う(請負代金額500万円以上、10日以内に登録) 行わない [1.1.4] [1.1.8]									
	④ 通用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速(32m/s) 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ・積雪荷重 H12.5.31号第1455号における区域 別表(24)									
	⑤ 別契約の関連工事	・監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。 (1.1.7) ※監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。									
	6 施工に注意を要する区域等	本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 (1.1.12、13) 及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地 ・史跡名勝天然記念物									
	7 工事の記録	川越市工事類(写真)の電子納品運用取扱基準、川越市電子納品運用ガイドライン ※適用する(CD-R又はDVD-Rで1部提出)・適用しない 工事写真は、工事の進捗を示すものとして着工前を含め各工程毎に撮影し、施工が適切であることを証明し、内容が明確に確認できること。工事完成後では確認困難なカ所を撮影する。写真は標準版を用い、工事名称、工種又は使用材料、撮影対象のカ所、寸法、路線等を記入し、必要に応じてテープ、箱尺等を使用する。									
	8 電気保安技術者	適用する [1.3.3] [1.3.1]									
	9 施工条件	施工時間 [1.3.5] ※行政機関の休日に関する法律(S63第91号)に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ○以下の期間を除いた現場閉鎖日数の割合が28.5%(8/28)以上であること 年始末始6日間、夏季休業3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間 指定期間() 施工時間以外の施工条件 ・因縁による ○川越市週休2日制適用工事要領(建築工事)(令和8年1月20日施行)による									
	10 施工中の安全確保	本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するため必要な措置を講ずべき者(統括安全衛生管理義務者)とする。 (1.3.7)									
11 施工中の環境保全等	建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 (1.3.10)										
12 発生材の処理等	引渡しを要するもの [1.3.11] [1.1.13] ※無し(全て構外搬出処正処理) 有り(※図示) 注 a) 発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に報告する。 b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c) 引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下、「建設リサイクル法」という。)「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他の関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。 d) 建設副産物情報交換システム「コブリス・プラス」により登録を行うこと。 e) 建設副産物情報を提出すること。 また、再生資源利用(促進)計画書等を提出すること。										
13 県産品の使用	受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は埼玉県内に本拠地を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。 [1.4.2]										
14 環境への配慮	建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所の品質 (1.4.1) [1.4.3] 及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁纸、接着剤、保溫材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないもので、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤(タル酸ジ- α -ブチル及びタル酸ジ- β -エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用するものとする。										
15 材料の品質等	※本工事に使用する材料等は、設計図面に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が指定されている場合に同等以上のものをする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資質又は部部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承認を受ける。 ①品質及び性能に関する試験データが整備されていること ②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③安定的な供給が可能であること ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥販売・保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング等は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ監督員に提出する。										
16 技能士	通用工事種別 [1.5.2] [1.3.3] 技能士										
17 仮設工事	1 足場その他 2 監督員事務所 3 現場表示板 4 工事用水 5 工事用電力 6 工事用搬入路 7 仮面い 8 交通誘導員 9 快適トイレ 10 その他										
18 防水工事	20 保証書 21 その他										
19 土工事	22 建築発生土の処理 23 山留めの撤去										
20 鉄筋工事	24 土工事 25 鉄筋工事										
21 水工事	26 防水工事										
22 製作工事	27 塗装工事										
23 植栽及び屋上緑化工事	28 石工事										
24 木工事	29 タイル工事										
25 壁工事	30 木工事										
26 建具工事	31 木工事										
27 建築工事	32 木工事										
28 建築外構工事	33 木工事										
29 建築内装工事	34 木工事										
30 建築外装工事	35 木工事										
31 建築内装工事	36 木工事										
32 建築外装工事	37 木工事										
33 建築内装工事	38 木工事										
34 建築外装工事	39 木工事										
35 建築内装工事	40 木工事										
36 建築外装工事	41 木工事										
37 建築内装工事	42 木工事										
38 建築外装工事	43 木工事										
39 建築内装工事	44 木工事										
40 建築外装工事	45 木工事										
41 建築内装工事	46 木工事										
42 建築外装工事	47 木工事										
43 建築内装工事	48 木工事										
44 建築外装工事	49 木工事										
45 建築内装工事	50 木工事										
46 建築外装工事	51 木工事										
47 建築内装工事	52 木工事										
48 建築外装工事	53 木工事										
49 建築内装工事	54 木工事										
50 建築外装工事	55 木工事										
51 建築内装工事	56 木工事										
52 建築外装工事	57 木工事										
53 建築内装工事	58 木工事										
54 建築外装工事	59 木工事										
55 建築内装工事	60 木工事										
56 建築外装工事	61 木工事										
57 建築内装工事	62 木工事										
58 建築外装工事	63 木工事										
59 建築内装工事	64 木工事										
60 建築外装工事	65 木工事										
61 建築内装工事	66 木工事										
62 建築外装工事	67 木工事										
63 建築内装工事	68 木工事										
64 建築外装工事	69 木工事										
65 建築内装工事	70 木工事										
66 建築外装工事	71 木工事										
67 建築内装工事	72 木工事										
68 建築外装工事	73 木工事										
69 建築内装工事	74 木工事										
70 建築外装工事	75 木工事										
71 建築内装工事	76 木工事										
72 建築外装工事	77 木工事										
73 建築内装工事	78 木工事										
74 建築外装工事	79 木工事										
75 建築内装工事	80 木工事										
76 建築外装工事	81 木工事										
77 建築内装工事	82 木工事										
78 建築外装工事	83 木工事										
79 建築内装工事	84 木工事										
80 建築外装工事	85 木工事										
81 建築内装工事	86 木工事										
82 建築外装工事	87 木工事										
83 建築内装工事	88 木工事										
84 建築外装工事	89 木工事										
85 建築内装工事	90 木工事										
86 建築外装工事	91 木工事										
87 建築内装工事	92 木工事										
88 建築外装工事	93 木工事										
89 建築内装工事	94 木工事										
90 建築外装工事	95 木工事										
91 建築内装工事	96 木工事										
92 建築外装工事	97 木工事										
93 建築内装工事	98 木工事										
94 建築外装工事	99 木工事										
95 建築内装工事	100 木工事										
96 建築外装工事	101 木工事										
97 建築内装工事	102 木工事										
98 建築外装工事	103 木工事										
99 建築内装工事	104 木工事										
100 建築外装工事	105 木工事										
101 建築内装工事	106 木工事										
102 建築外装工事	107 木工事										
103 建築内装工事	108 木工事										
104 建築外装工事	109 木工事										
105 建築内装工事	110 木工事										
106 建築外装工事	111 木工事										
107 建築内装工事	112 木工事										
108 建築外装工事	113 木工事										
109 建築内装工事	114 木工事										
110 建築外装工事	115 木工事										
111 建築内装工事	116 木工事										
112 建築外装工事	117 木工事										
113 建築内装工事	118 木工事										
114 建築外装工事	119 木工事										
115 建築内装工事	120 木工事										
116 建築外装工事	121 木工事										
117											

This diagram is a complex flowchart illustrating the classification and application of various waterproofing and insulation materials and methods. It branches into several main categories: 1. General waterproofing (e.g., 2.改質アスファルトシート防水, 3.合成高分子系ルーフィングシート防水). 2. Specific waterproofing (e.g., 4.塗膜防水, 5.ケイ酸質系塗布防水, 6.シーリング). 3. Insulation (e.g., 7.防水工事施工票). 4. Stone and tile work (e.g., 10.石工事). 5. Woodwork (e.g., 12.木工事). 6. General construction (e.g., 3.造作用集成材, 4.造作用单板積層材). 7. Specialized materials (e.g., 5.外壁乾式工法, 7.合板). Each category contains detailed sub-diagrams and tables specifying product types, application methods, and specific requirements like 'JIS A 6013' or 'SUS304'.

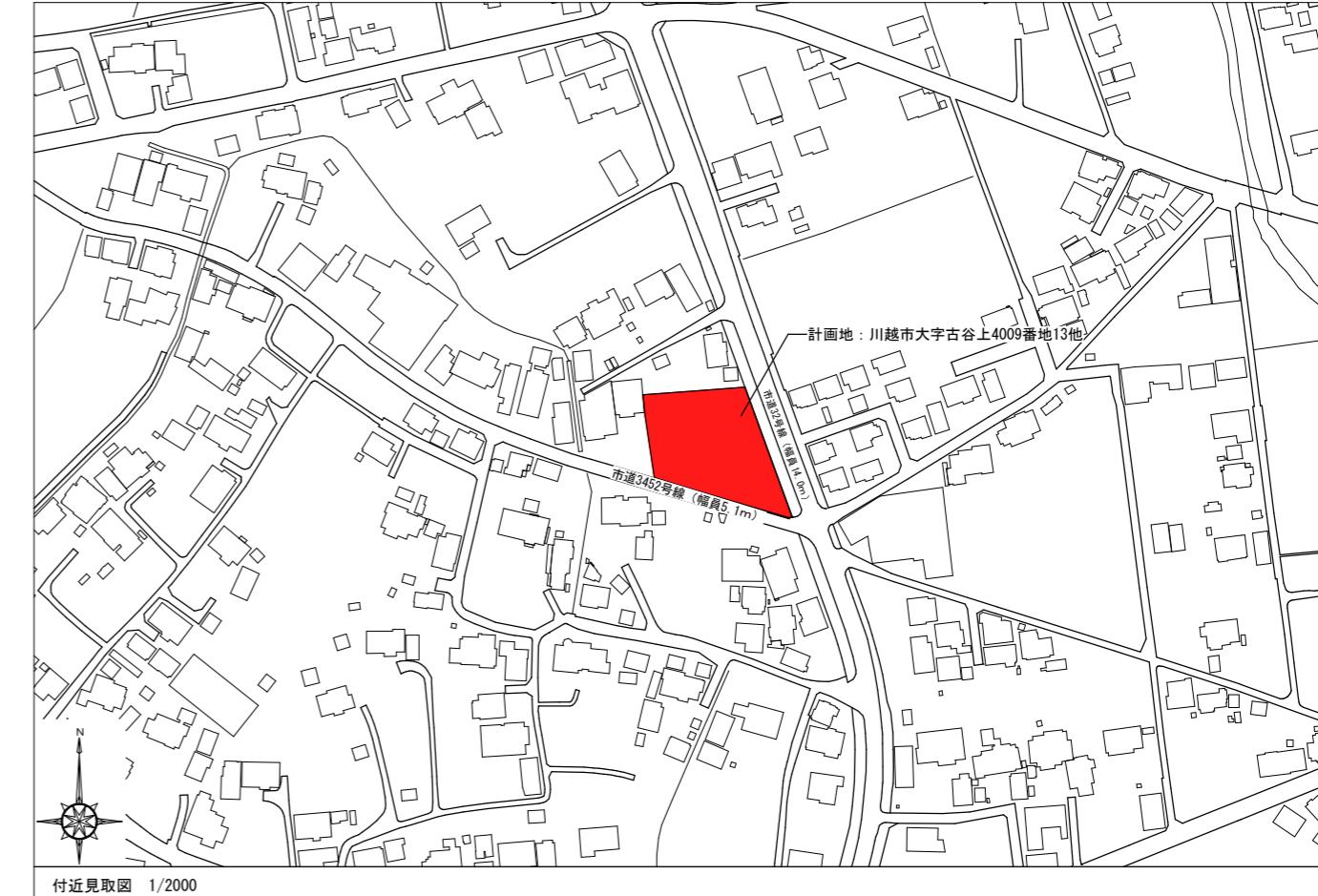
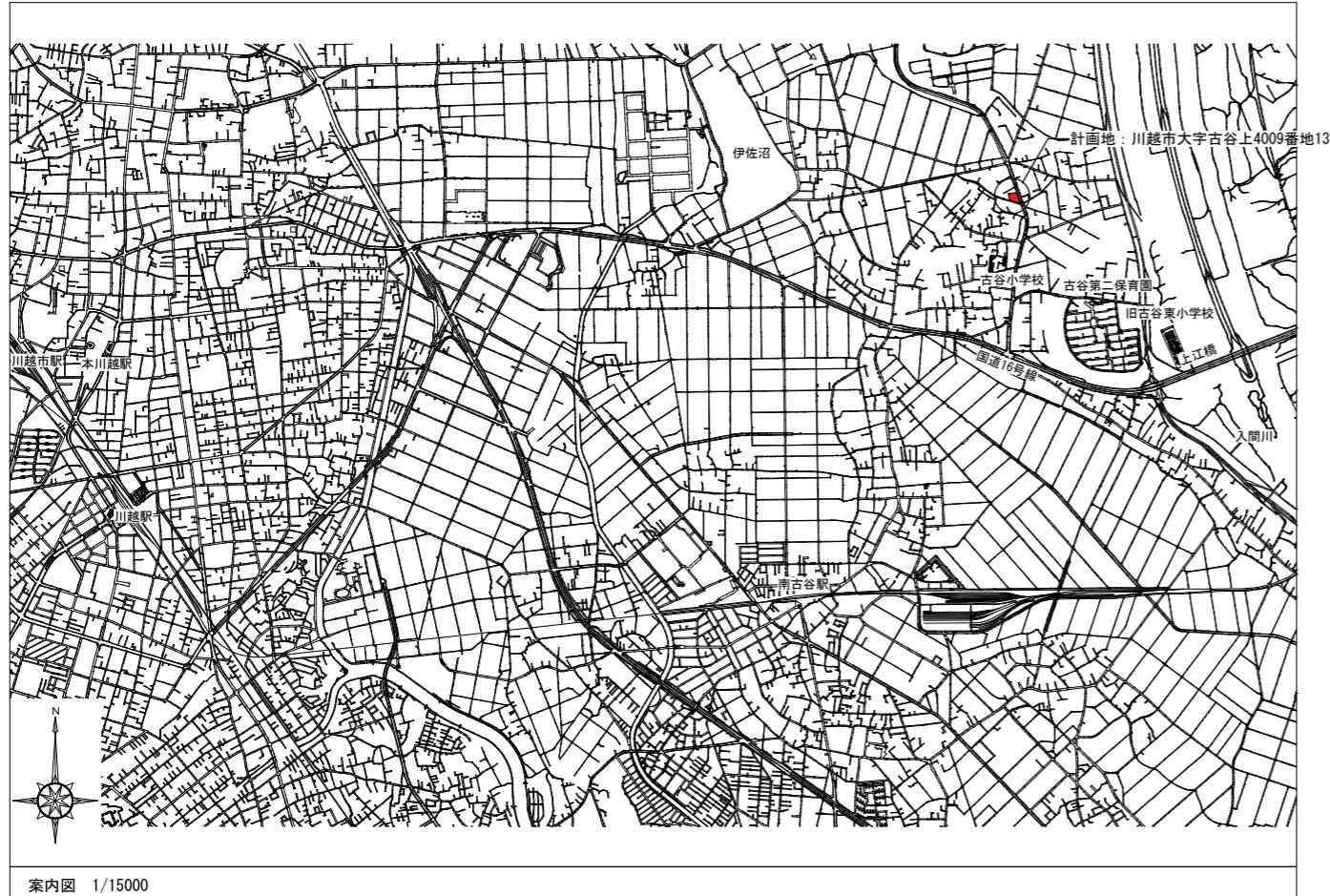


吸音材料	吸音材料	・ロックウール化粧吸音板 ・ロックウール吸音ボード1号 ・グラスウール吸音ボード32K	・フラットタイプ (・9(不燃)・12(不燃)) ・凹凸タイプ (・12(不燃)・15(不燃)) ・25 ・25(ガラスクロス包)	3 移動間仕切	(20.2.4)								----------	--------	-----------	-------------	--------------	-------------------		構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材 材質	遮音性 (dB/500Hz)		・平行方向移動式	・手動式	・パッシュ式	65	・木板	・36未満		・二方向移動式	・電動式	・ハンドル式		・壁紙張り	・36以上			・部分電動式			・化粧板			17 天井点検口	(20.2.4)							----------	--------------------	--------------	------------------	------------------		材種	寸法	形式	外枠	内枠		※アルミニウム製	450×450 600×600	・一般形 ・屋内用	・縦縫タイプ ・縦縫タイプ	・縦縫タイプ ・縦縫タイプ				・気密形				18 床点検口	(20.2.4)						----------	--------------------	--------------	---------		材種	寸法	形式	備考		・アルミニウム製	450×450 600×600	・一般形 ・屋内用	・防水、防臭型		・ステンレス製		・屋内用	・鍵付き		・鋼製					19 耐震スリット	(20.2.4)								-----	-------	-----------	------	------	----		方向	幅(mm)	タ イ プ	耐火性能	防水性能	備考		・垂直	25	※完全(全貫通型)	・有り	・有り			・水平			・無し				20 止水版	(20.2.4)								----	-----	------	------	------	-------		材種	耐水性	施工箇所	・差込式	・据置式	・壁張り式		----	-----	------	------	------	-------		21 エキスパンション・ジョイント金物	(20.2.4)										------------------------------	------------------------------	------	------------------------------	-------------------------	---------------	---------------	----		材質	耐水性	施工箇所	・建築物間の 隙間(±3mm)	変位追従性(mm)	耐火性能	断熱性能	備考		・アルミニウム ・ステンレス ・表面材と同材	・アルミニウム ・ステンレス ・表面材と同材		・50 ・100 ・150 (その他)	(選択基準の床等) ・以上 ・以上	・有り() ・無し	・有り() ・無し			22 くつ福建	(20.2.4)					--	-----------------	----		材種	受け栓	備考		・塗化ビニール又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス製(SUS304)			23 流し台ユニット	(20.2.4)					-------	--	------------------------------		材種	寸法(mm)	備考		・流し台	W:1200 D:550 H:800 ・1500 ・1800	市販品 ・トランク付き 天板ステンレス製		・コンロ台	W:600 D:550 H:620 ・600 ・650	市販品 ・パックガード有り 天板ステンレス製		・つり戸棚	W:1500 D:450 H:500 ・900 ・370 ・700	市販品		・水切り	W:1200 D:900 H:600	市販品 ・ステンレス製 ・一段式		24 旗竿	(20.2.4)								------------	------------------	-------	-----------------	------------------------	----		材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考		・アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式			25 旗竿受金物	(20.2.4)						----------	-----------------	-----------------	--------		形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)		○上下式鎖内蔵式	○標準品 ○スプリング式	○標準品 ○スプリング式	○図示		○固定式鎖内蔵型	○標準品	○標準品	○図示		26 フェンス	(20.2.4)				---------	--		フェンスの種類	・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・钢管フェンス ・アルミフェンス		高さ	○図示		27 街きよ、縁石、側溝	(20.2.4)				----------------	-----------------------------		種類	形状、寸法		○縁石	○図示		・L形側溝	・図示		・U形側溝	・図示		・U形側溝ふた	・図示		○街きよ	○図示		砂利地に用いる材料	・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂		砂利地に用いる材料	・再生プラスチックラン ・切込砂利 ・砕砂		現場打ちの場合のコンクリート	・普通コンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	※SD295		砂利地に用いる材料	・砂利地に用いる材料		現場打ちの場合の金物	・切込砂利		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合はコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート		設計基準強度	※18N/mm ²		スランプ(cm)	※15又は18		現場打ちの場合の筋鉄	・筋鉄の記号		排水溝に用いる材料	・現場打ちの場合の金物		現場打ちの場合のコンクリート	・現場打ちの場合のコンクリート				

章	節	項	事項	内 容		記載年月	監修者	監修年月	監修者
				基準	方法				
1 路盤	1.1 路盤安定処理	試験	砂の粒度試験	○行う	・行わない				
		路床土の支持力比 (CBR) 試験	○行う (2箇所)	・行わない					
		現場 CBR 試験	○行う (2箇所)	・行わない					
		安定処理土の CBR 試験	・行う	○行わない					
		路床締固め度の試験	・行う (1箇所)	○行わない					
		六面クロム溶出試験	・行う	○行わない					
	1.2 路盤及び厚さ	路盤及び厚さ	○図示			(22.3.2, 3) (表22.3.1)			
		路盤材料 (標準仕様書 表22.3.1による種別)							
		種別	・クラッシュラーン						
		碎石	・粒度調整碎石						
		再生材	○再生クラッシュラーン	■					
			・再生粒度調整碎石	■					
			・クラッシュラーン鉄筋スラグ	■					
			・粒度調整鉄筋スラグ	■					
			・水硬性粒度調整鉄筋スラグ	■					
2 アスファルト舗装	2.1 アスファルト舗装の構成及び厚さ	アスファルト舗装の構成及び厚さ	※図示	・	(22.4.2~4, 6) (表22.4.1, 4)				
		材料及び種類	アスファルト ○再生アスファルト	■	(標準仕様書 表22.4.1による種類: ○60~80 80~100)				
		骨材	・ストレートアスファルト						
			・アスファルトコンクリート再生骨材	■					
		加熱アスファルト混合物の種類	○密粒度アスファルト混合物 (13) 溶融スラグ入り						
			・細粒度アスファルト混合物 (13)						
			・密粒度アスファルト混合物 (13F)						
		試験	アスファルト混合物等の抽出試験	・行う	○行わない				
		舗装の平たん性	※通行の支障となる水たまりを生じない程度						
3 コンクリート舗装	3.1 構成及び厚さ	構成及び厚さ	(22.5.2~4) (表22.5.1~3)						
		舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)				
		コンクリート舗装	・車路、駐車場	※図示	・図示				
			○歩行者用通路	※図示	※70 ○図示				
	3.2 材料	材料	コンクリート	※普通コンクリート	標準仕様書表22.5.1による				
			・以下による	コンクリートの種類					
			・設計基準強度 (N/mm ²)						
			・所定のスランプ (cm)	※8					
			粗骨材の最大寸法 (mm)						
			早強ボルトランドセメント	・使用する	○使用しない				
		注入目地材料	※低弾性タイプ		・高弾性タイプ				
	3.3 目地	目地	種類	※標準仕様書表22.5.3による					
			間隔	※標準仕様書表22.5.3による	○ 5m程度ごと				
			構造	※標準仕様書表22.5.1による	○図示				
		舗装の平たん性	※通行の支障となる水たまりを生じない程度						
4 カラー舗装	4.1 加熱系カラーブラック	構成及び厚さ	※図示			(22.6.2~4)			
		加熱系混合物の結合材							
			・アスファルト混合物						
			・石油樹脂系混合物	顔料の添加量 (%)					
		添加材	着色骨材 ()						
			・自然石 ()						
		・常温系カラー舗装	・ニート工法 (配合その他:)						
			・透水性工法 (配合その他:)						
			着色部の下部	・アスファルト舗装	・コンクリート舗装				
			舗装の平たん性	※通行の支障となる水たまりを生じない程度					
5 透水性アスファルト舗装	5.1 透水性舗装の構成及び厚さ	透水性舗装の構成及び厚さ	※図示			(22.7.2, 3, 6)			
		材料	骨材	・道路用碎石					
				・アスファルトコンクリート再生骨材	■				
				(標準仕様書 表22.4.1による種類: ○60~80 80~100)					
		舗装の平たん性	※着しい不陸がないもの						
	5.2 試験	開粒度アスファルト混合物等の抽出試験	・行う	・行わない					
		透水性コンクリート舗装							
		コンクリート舗装に対する基準値							
		項目	基準						
		最大粒径 (mm)	13						
		空隙率 (%)	20以上						
		透水係数 (cm/s)	1×10 ⁻¹ 以上						
		自地の間隔			版厚の20倍程度				
6 半たわみ性舗装	6.1 構成及び厚さ	構成及び厚さ	※図示			(22.8.2, 3)			
		材料	骨材	・透水性コンクリート平板舗装					
				(標準仕様書 表22.4.1による種類: ○60~80 80~100)					
	6.2 試験	開粒度アスファルト混合物等の抽出試験	・行う	・行わない					
		透水性コンクリート舗装							
		コンクリート舗装に対する基準値							
		項目	基準						
		最大粒径 (mm)	13						
		空隙率 (%)	20以上						
		透水係数 (cm/s)	1×10 ⁻¹ 以上						
		自地の間隔			版厚の20倍程度				
7 半たわみ性舗装	7.1 構成及び厚さ	構成及び厚さ	※図示			(22.8.2, 3)			
		材料	骨材	・透水性コンクリート平板舗装					
				(標準仕様書 表22.4.1による種類: ○60~80 80~100)					
	7.2 試験	開粒度アスファルト混合物等の抽出試験	・行う	・行わない					
		透水性コンクリート舗装							
		コンクリート舗装に対する基準値							
		項目	基準						
		最大粒径 (mm)	13						
		空隙率 (%)	20以上						
		透水係数 (cm/s)	1×10 ⁻¹ 以上						
		自地の間隔			版厚の20倍程度				
8 弾性舗装	8.1 構成及び厚さ	構成及び厚さ	※図示			(22.5.2~4) (表22.5.1~3)			
		材料	コンクリート	※普通コンクリート	標準仕様書表22.5.1による				
			・以下による	コンクリートの種類					
			・設計基準強度 (N/mm ²)						
			・所定のスランプ (cm)	※8					
			粗骨材の最大寸法 (mm)						
			早強ボルトランドセメント	・使用する	○使用しない				
		注入目地材料	※低弾性タイプ		・高弾性タイプ				
	8.2 試験	試験	構成及び厚さ	※図示		(22.6.2~4)			
		材料	コンクリート	※普通コンクリート	標準仕様書表22.5.1による				
			・以下による	コンクリートの種類					
			・設計基準強度 (N/mm ²)						
			・所定のスランプ (cm)	※8					
			粗骨材の最大寸法 (mm)						
			早強ボルトランドセメント	・使用する	○使用しない				
		注入目地材料	※低弾性タイプ		・高弾性タイプ				
	8.3 試験	試験	構成及び厚さ	※図示		(22.6.2~4)			
		材料	コンクリート	※普通コンクリート	標準仕様書表22.5.1による				
			・以下による	コンクリートの種類					
			・設計基準強度 (N/mm ²)						
			・所定のスランプ (cm)	※8					
			粗骨材の最大寸法 (mm)						
			早強ボルトランドセメント	・使用する	○使用しない				
		注入目地材料	※低弾性タイプ		・高弾性タイプ				
	8.4 試験	試験	構成及び厚さ	※図示		(22.6.2~4)			
		材料	コンクリート	※普通コンクリート	標準仕様書表22.5.1による				
			・以下による	コンクリートの種類					
			・設計基準強度 (N/mm ²)						
			・所定のスランプ (cm)	※8					
			粗骨材の最大寸法 (mm)						
			早強ボルトランドセメント	・使用する	○使用しない				

1. 工事名称	古谷地区公立保育所新築外構工事
建設地	(地名地番) 埼玉県川越市大字古谷上4009番地13、4009番地23、4021番地10、4022番地1、5692番地17
主要用途	保育所 消防用途 (6) 項ハ(3) 保育所等・児童発達支援センター等
工事種別	新築・増築・別棟増築・改築・改修(大規模の修繕)・室内装飾 別途変更(大規模の模様替)・仮設建築・解体・移設・移転

建築主	川越市長
住所氏名	森田 初恵
	T E L 049-224-8811
	〒 3 5 0 - 8 6 0 1
	埼玉県川越市元町1丁目3番地1
敷地面積	公簿 m ² (= 坪)
用途地域	実測 1,925.16 m ² (= 坪)
防火地域	低層住居専用(第1種)・中高層住居専用(第2種)・住居地域(第1種・第2種) 準住居・近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用・指定なし
その他の地域地区	日影制限: 有(高さが10mを超える建築物が対象) 平均地盤面からの高さ 4m 敷地境界線より5mを越え10m以内の範囲 3時間以上 敷地境界線より10mを越える範囲 5時間以上 都市計画区域内・都市計画区域外・市街化区域・市街化調整区域・特別工業地区・特別用途地区・美観地区・再開事業区域・特定街区・改良地区 文教地区()・風致地区()・高度地区(第二・三種)・駐車場整備地区・電波伝搬障害防止地区・多雷地区・災害危険地区 緑地地区・土地区画整理事業地区・宅地造成工事規制区域・国立公園・国定公園・河川敷・その他: 下水道処理区域内



月 日	事 務
年 月 日	
年 月 日	



敷地求積図 S=1/200

点名	X座標	Y座標	備考
R5T5	-8664.925	-27277.166	金属鉄
R5T6	-8698.196	-27262.473	金属鉄
R5T7	-8744.501	-27249.107	金属鉄
R5T9	-8682.046	-27309.112	プラスチック杭
R5T10	-8727.928	-27304.973	金属鉄

求積表					
地番	5692-17 (保育園)	公簿地積	249 m ²	公簿地目	雜種地
所有者	川越市			現況地目	学校用地
N O	X n	Y n	距 離	X n · (Y n+1-Y n-1)	
C146	-8740.051	-27262.394	12.381	-117815.887480	
C118	-8743.584	-27250.527	1.434	-111393.260160	
C119	-8742.446	-27249.654	41.220	114998.134684	
C150	-8703.686	-27263.681	8.016	124924.005158	
C151	-8711.696	-27264.007	28.400	-11211.952752	
			合 計	-498.960550	
			1 / 2	249.480275	
			地 積	249.48	m ²

地番 所有者	4009-13(保育園) 川越市	公簿地積	653 m ²	公簿地目	雜種地
N O	X n	Y n	距 離	現況地目	学校用地
K52	-8734. 915	-27279. 646	18. 000	-175991. 067420	
C146	-8740. 051	-27262. 394	28. 400	-136685. 657589	
C151	-8711. 696	-27264. 007	8. 016	11211. 952752	
C150	-8703. 686	-27263. 681	4. 674	11010. 162790	
C121	-8699. 291	-27265. 272	17. 318	164077. 327551	
C129	-8700. 587	-27282. 542	34. 449	125062. 237538	
合 計				-1315. 044378	
1 / 2				657. 5221890	
地 積				657. 52	m ²

地番 所有者	4009-23 川越市	公簿地積	125 m ²	公簿地目 現況地目	雜種地 雜種地
N O	X n -8693.094	Y n -27283.225	距 離 7.524	X n + (Y n+1-Y n-1)	127014.796434
C152	-8700.587	-27282.542	17.318	-156201.638411	
C121	-8699.291	-27265.272	7.779	-127105.340801	
C143	-8691.980	-27267.931	15.334	156047.116940	
				合 計	-245.065838
				1 / 2	122.532919
				地 積	122.53 m ²

地番	4021-10	公簿地積	196 m ²	公簿地目	畠
所有者	川越市			現況地目	畠
N O	X n	Y n	距離	X n · (Y n+1-Y n-1)	
C153	-8694. 888	-27307. 848	8. 438	207373. 078800	
K4	-8703. 291	-27307. 075	24. 681	-220245. 482046	
G129	-8700. 587	-27282. 542	7. 524	-207508. 999950	
C152	-8693. 094	-27283. 225	24. 688	219987. 436764	
合計				-393. 966432	
1/2				196. 983216	
地積				196. 98	m ²

地番 所有者	4022-1 川越市	公簿地積	672 m ²	公簿地目 現況地目	畠 畠
N O	X n	Y n	距離	X n + (Y n+1-Y n-1)	
C145	-8727. 384	-27303. 485	25. 000	-239383. 415736	
K52	-8734. 915	-27279. 646	34. 449	-182935. 324845	
C129	-8700. 587	-27282. 542	24. 681	238648. 400823	
K4	-8703. 291	-27307. 075	24. 358	182273. 023413	
				合計	-1397. 316345
				1/2	698. 6581725
				地積	698. 65 m ²

地 番	地 積
5692-17 (保育園)	249.48
4009-13 (保育園)	657.52
4009-23	122.53
4021-10 (用地)	196.98
4022-1	698.65
合 計	1,925.16
	m ²

字 堤 外

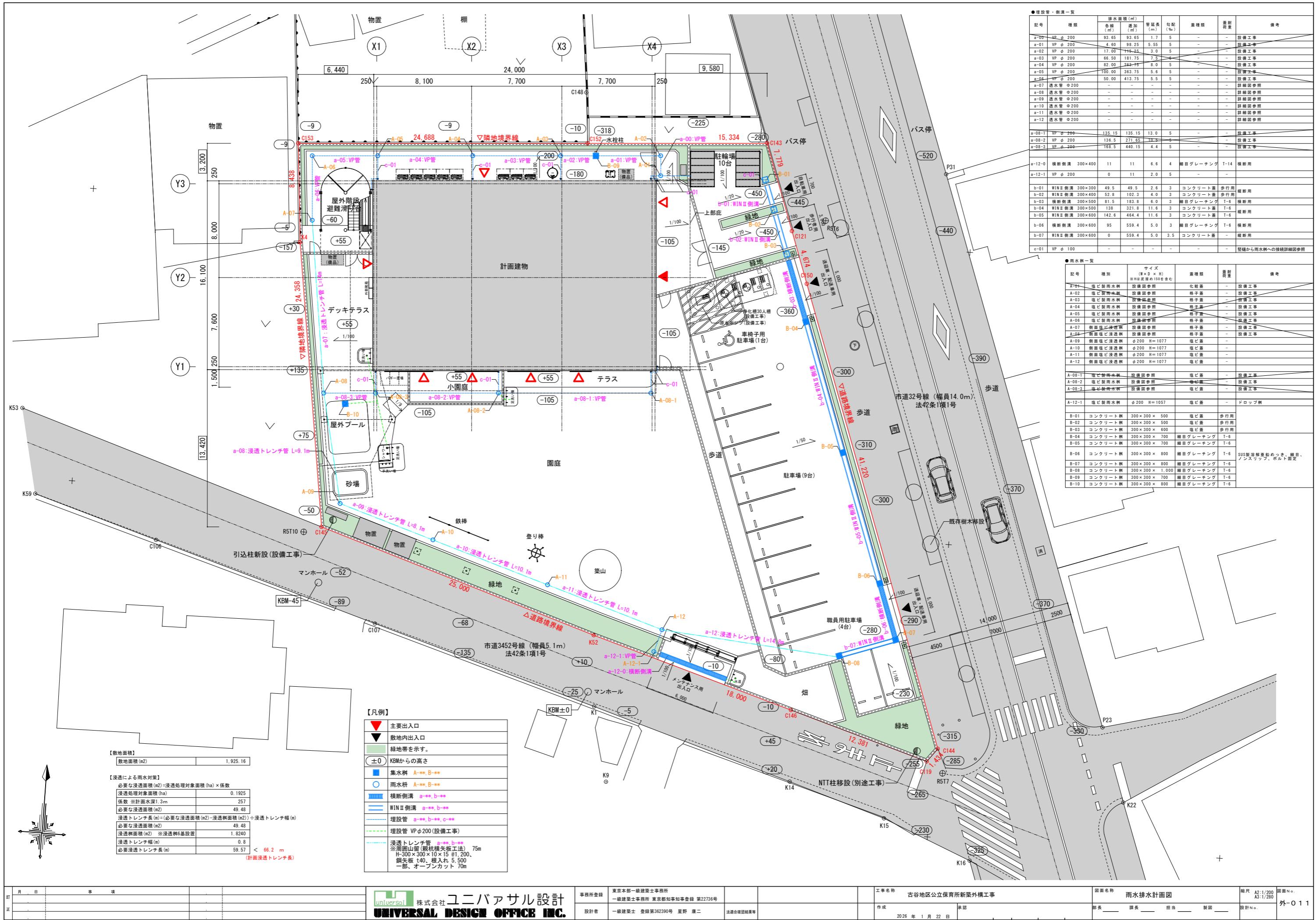
凡 例	
コンクリート杭	(コ)
金属標	(P)
金属鉄	(ビ)
プラスチック杭	(フ)
計算点	(計)
ペイント	(ペ)

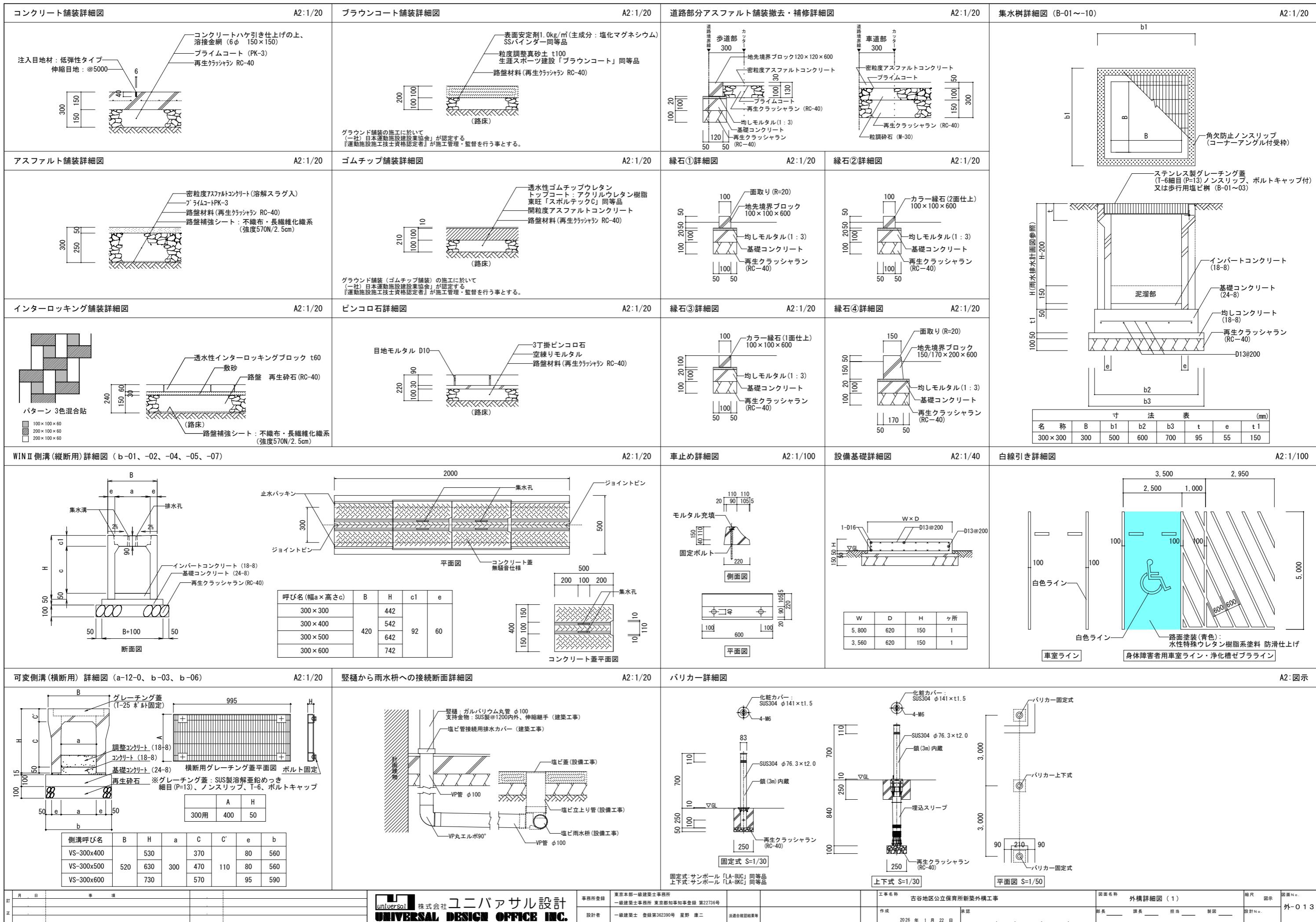
測量年月日	令和 5年 8月10日
測地系	世界測地系（測地成果2011） (パラメータ変換)
座標系	区系

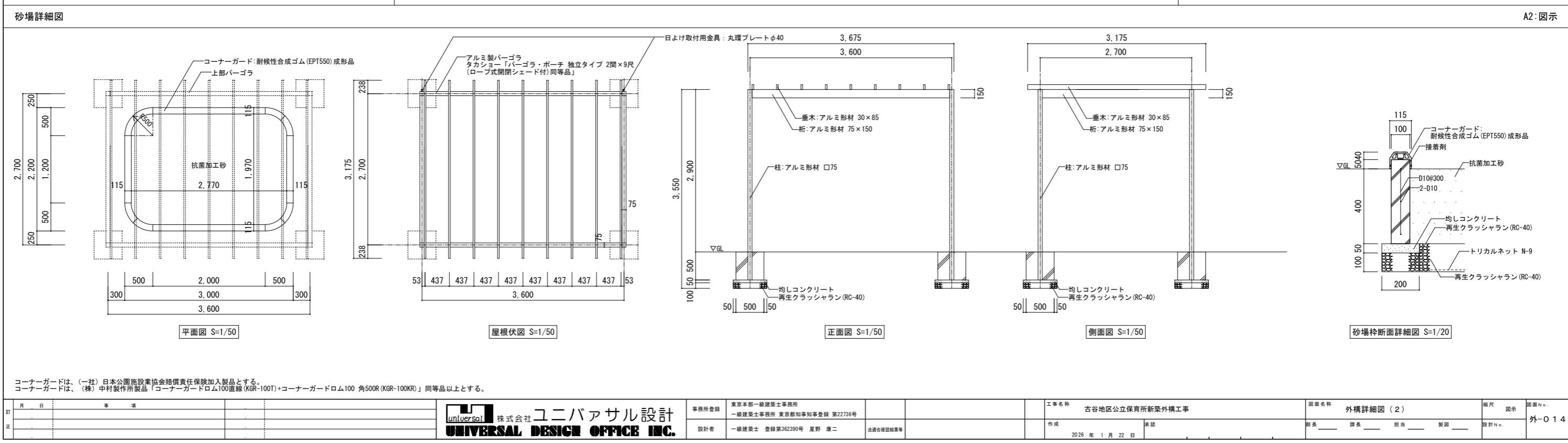
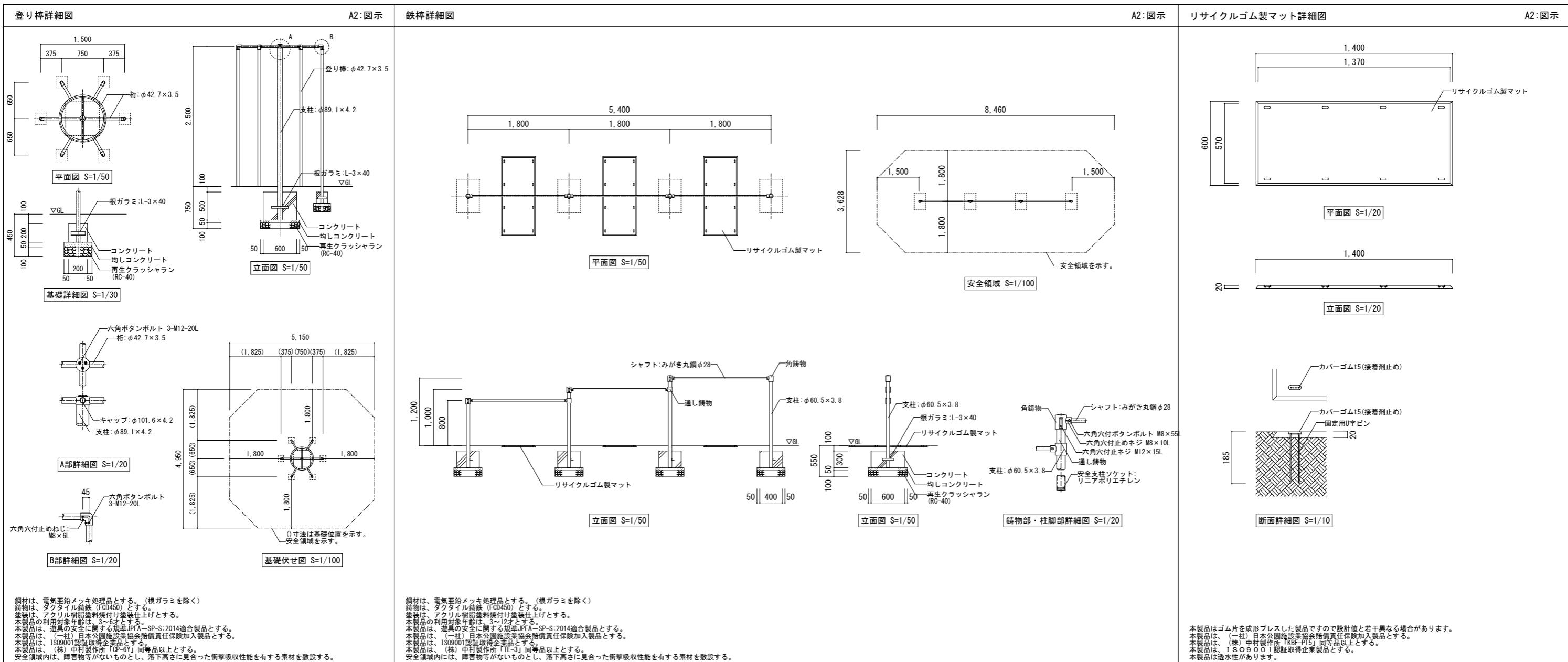
大字古谷上地内

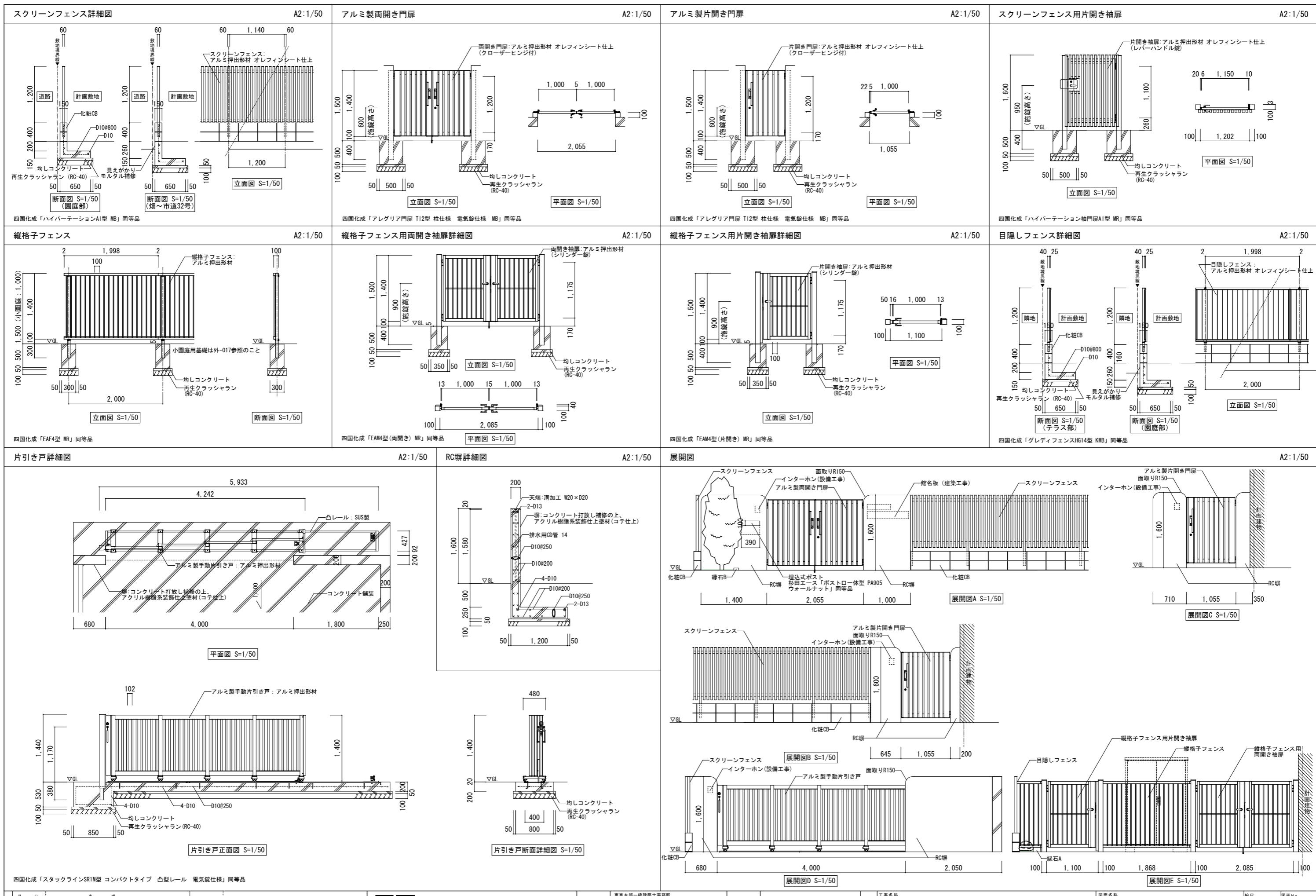
月 日	事 項	事務所登録	東京本部第一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号	工事名称	古谷地区公立保育所新築外構工事	図面名称	敷地求積図	縮尺 A2 1/200 A3 1/280		
正		設計者	一級建築士 登録第362390号 岩野 康二 法適合確認結果等	作成	2026年1月22日 承認	部長	課長	担当	製図	設計No.

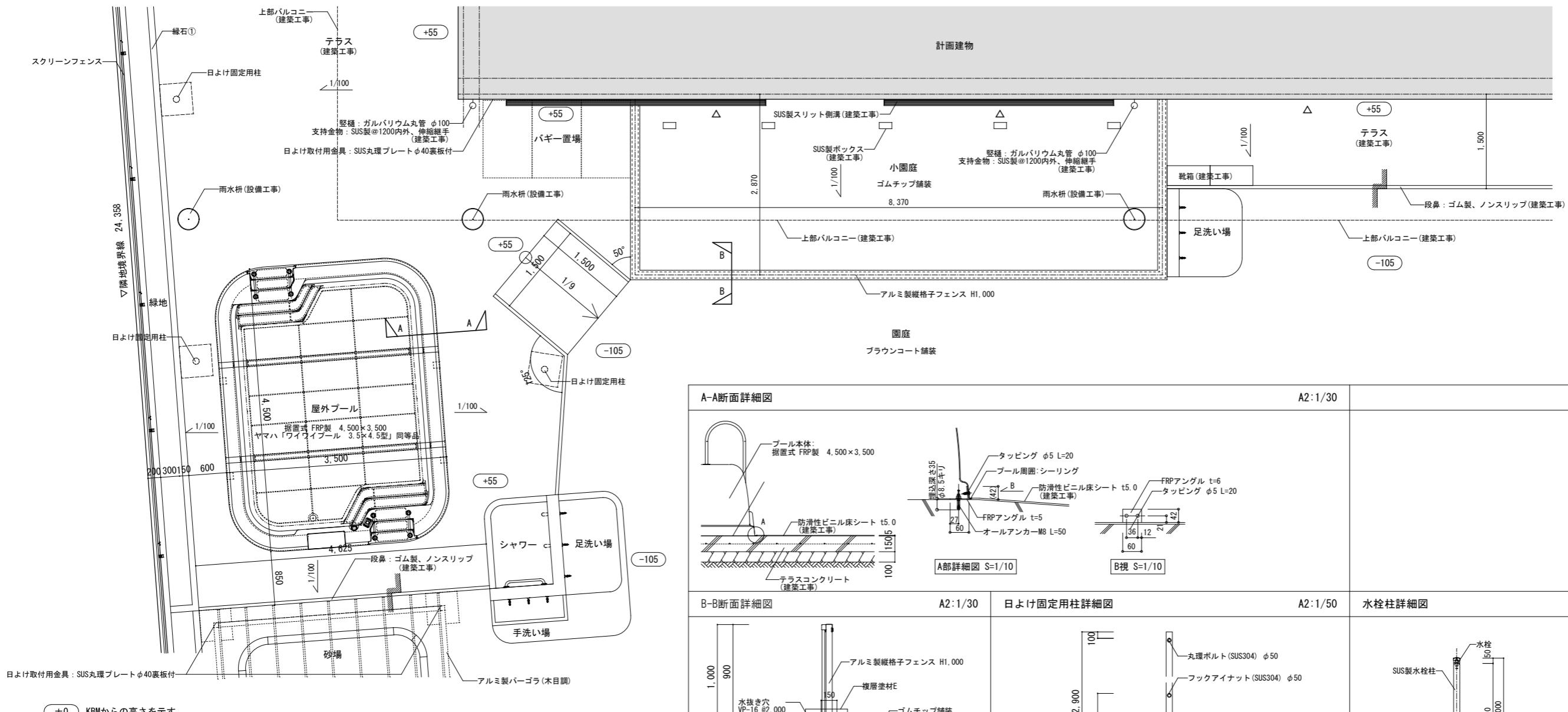






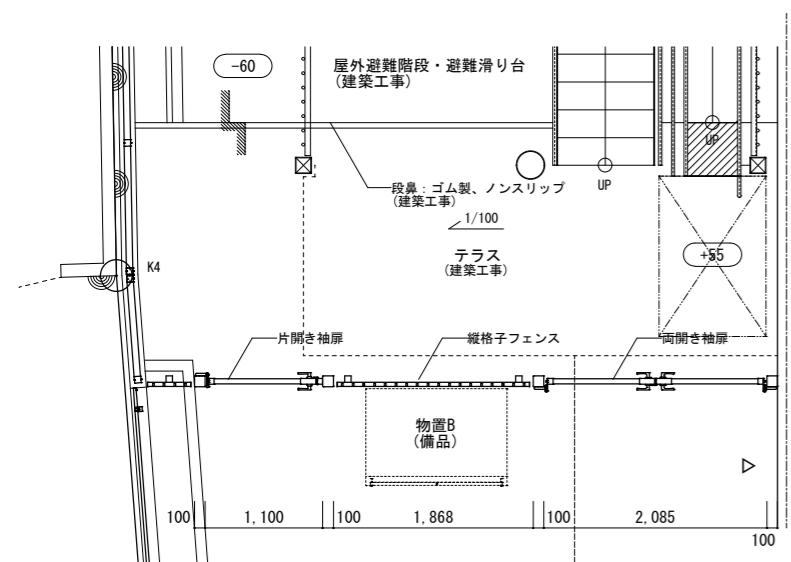






屋外階段周囲平面詳細図

A2:1



訂	月 日	事 項

universal 株式会社 ユニバーサルデザイン
UNIVERSAL DESIGN OFFICE

三十一 事務所登録 東京本部一級建築士事務所
一級建築士第10758号 東京都知事登録第22736号

工事名称 古谷地区公立保育所新築外構工事

図面名称 外構詳細図 (5)

縮尺 図示 図面No.

正 - - - - -

.....

設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等
-----	------------------------	----------

作成 承認

部長 _____ 課長 _____ 担任者 _____

外-017
製圖 _____ 設計 No. _____

.....

ERICKSON OFFICE INC. 1100 10th Street, Suite 1000, Denver, CO 80203 • 303.296.1111 • www.ericksoninc.com

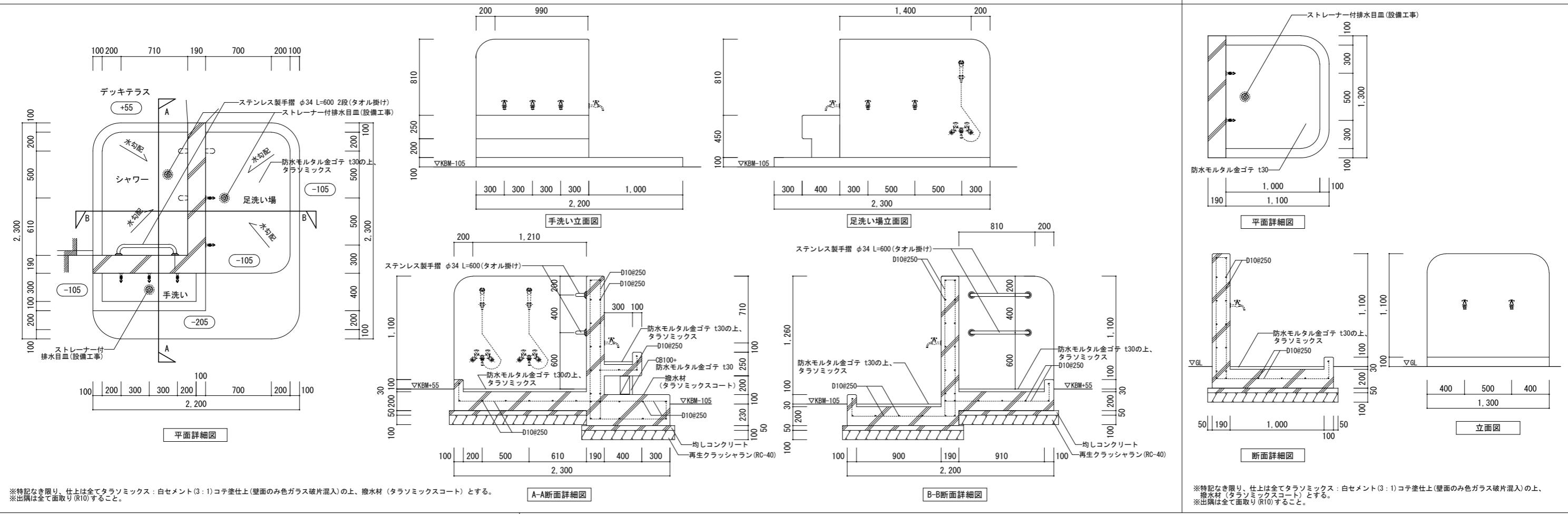
2026 年 1 月 22 日

シャワー・手洗い・足洗い場詳細図

A2:1/30

テラス上・畠 足洗い兼手洗い場詳細図

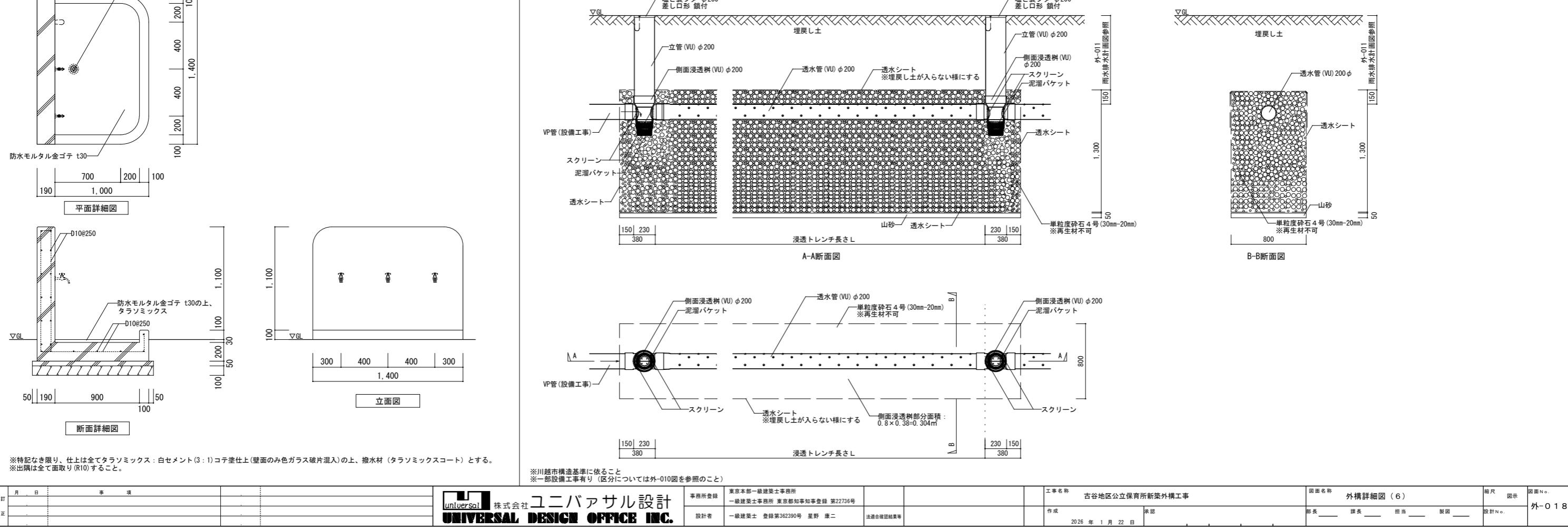
A2:1/30



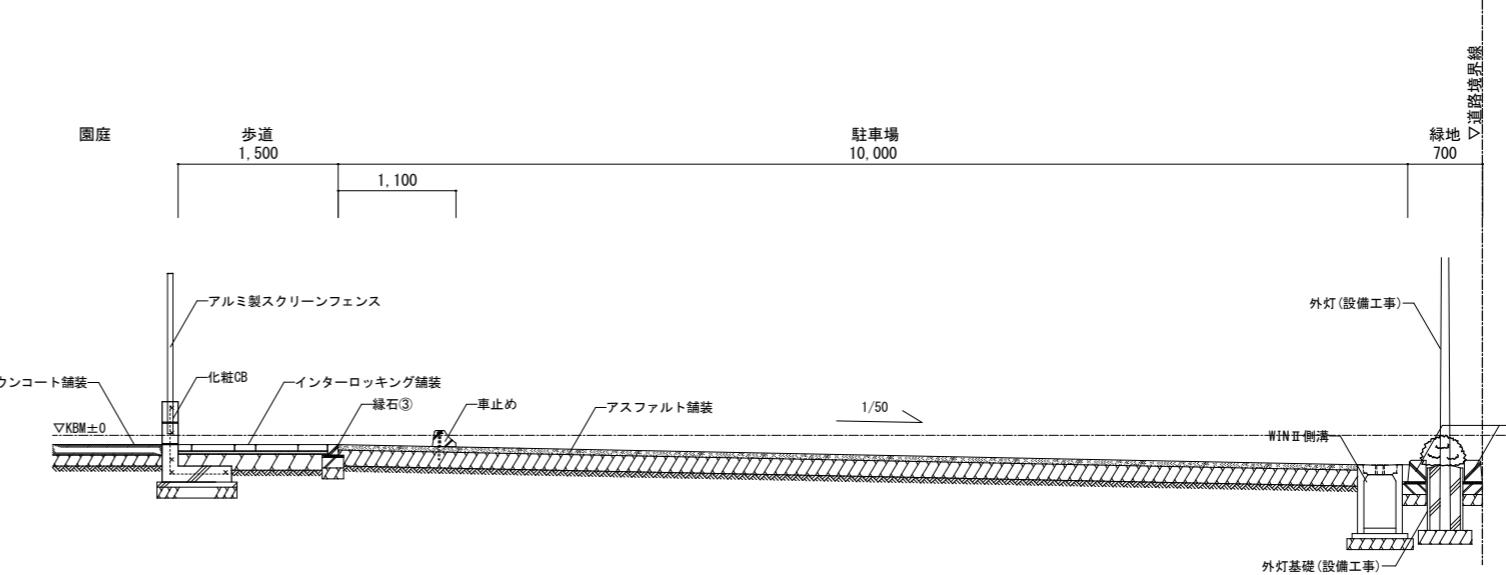
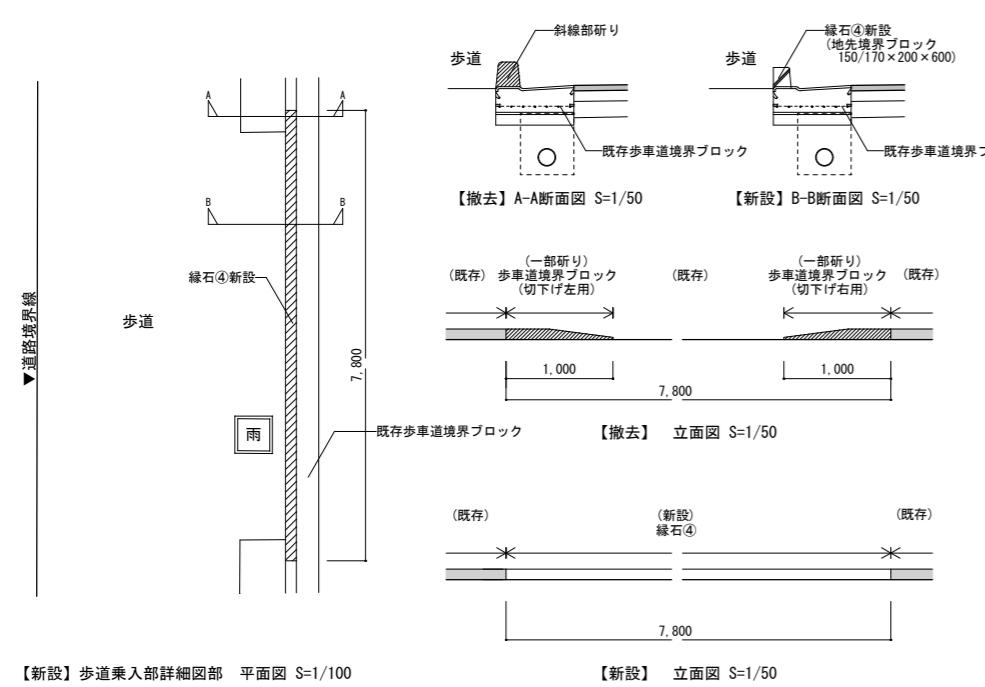
小園庭東側 足洗い兼手洗い場詳細図

ストレーナー

1. *What is the primary purpose of the study?* (e.g., to evaluate the effectiveness of a new treatment, to describe a population, to compare two groups).

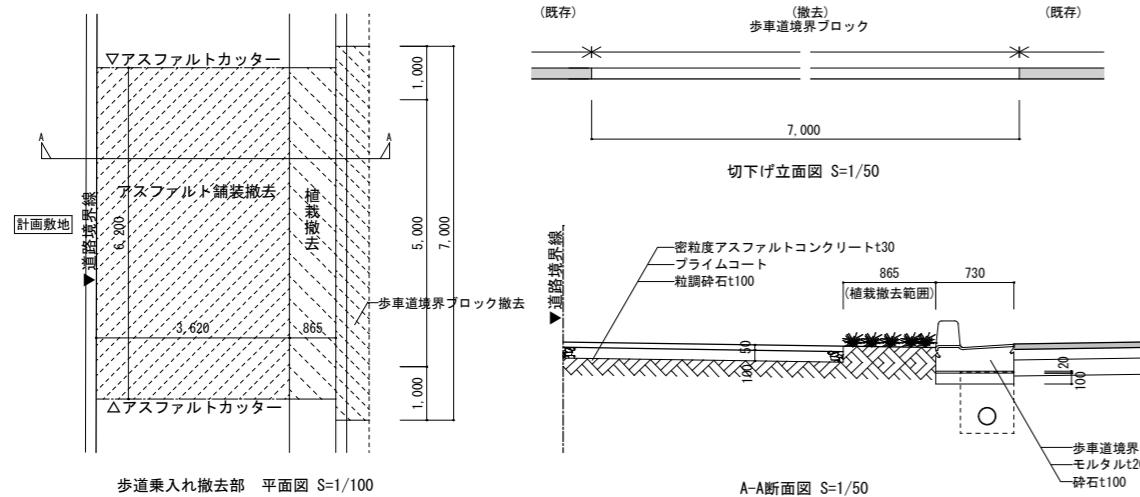


※全て別途工事とする。

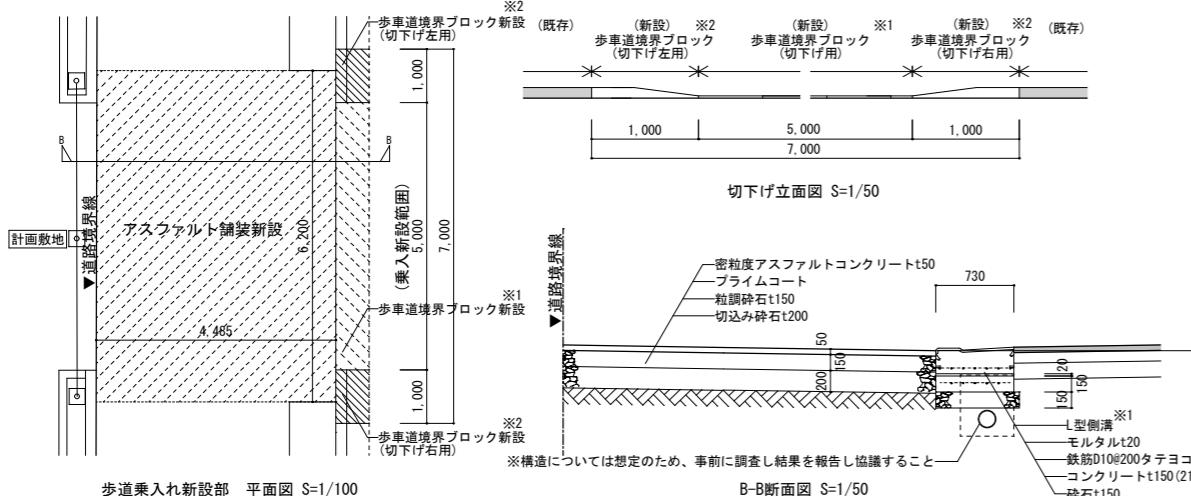


歩道乗入部 撤去・新設詳細図(参考図)

撤去 ※全て別途工事とする。



新設 ※全て別途工事とする。
 ※1 「ヤマケイブレコン」エプロン付き歩道境界ブロック(平坦部用) C×730×170同等品とする
 ※2 「丸栄コンクリート工業」ロードシステム(PL-5)斜めタイプ 3型 200同等品とする
 ※材料選定は現場着手前に調査し決定すること



A2:図示

ゴミストッカーデザイン図

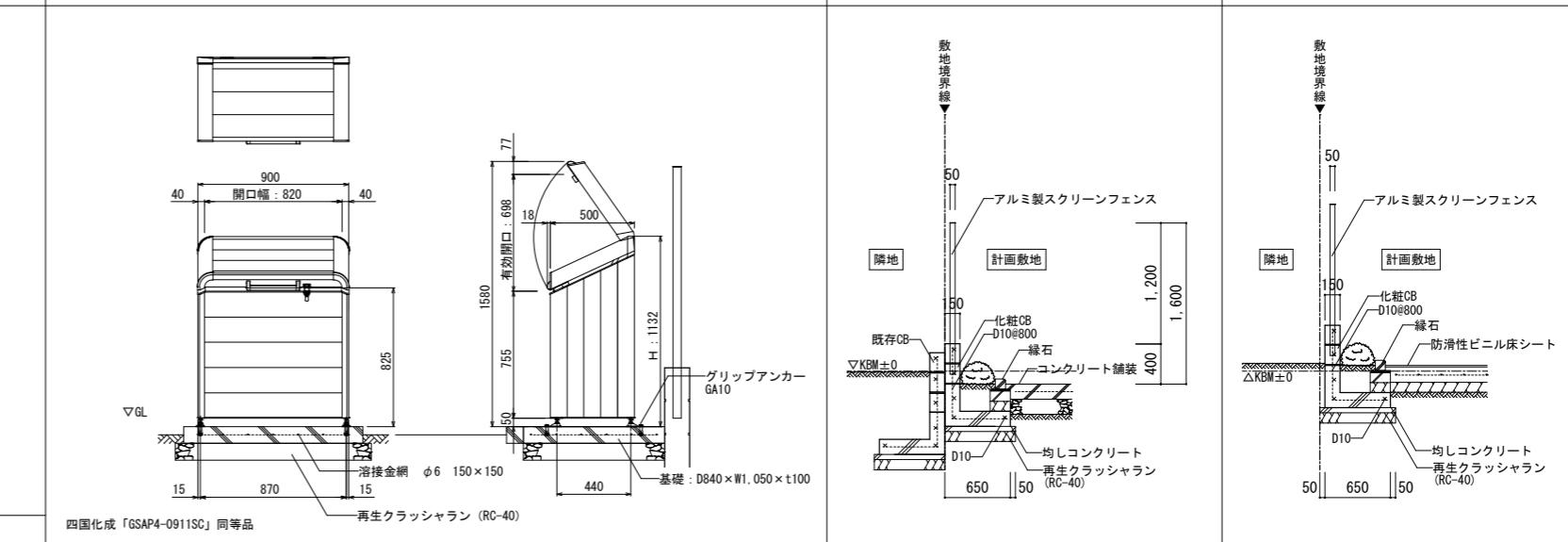
A2:1/30

B-B断面(外-010) 詳細図

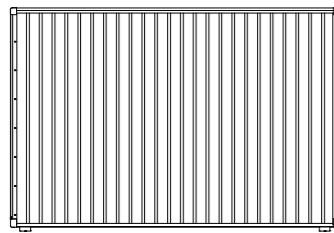
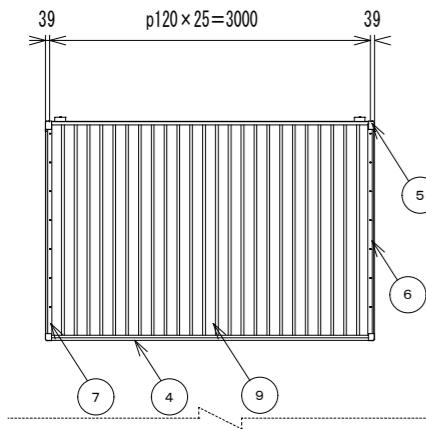
A2:1/50

C-C断面(外-010) 詳細図

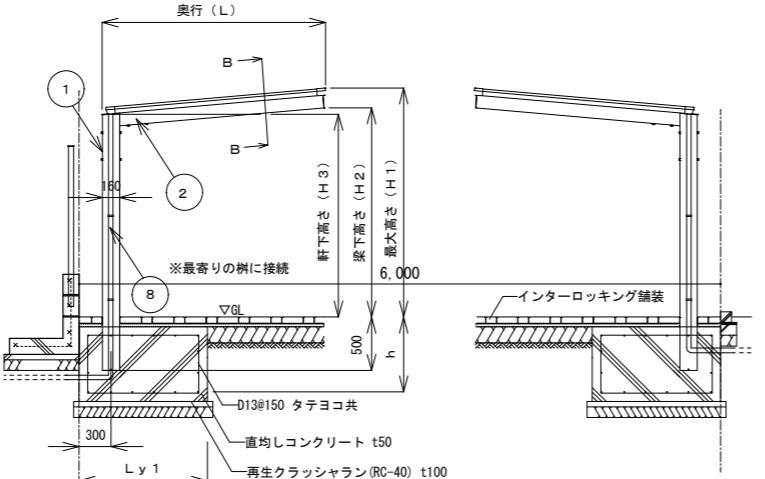
A2:1/50



主要部材断面図 (S=1/7)



A-A断面図 S=1/50



B-B断面図 S=1/50

据え付け図 S=1/50

アルミ屋根材

122. 6 x 9 x 1. 2 t

144. 8×9×1. 3 t

142. 9×9×1. 3 t

133. 2 x 7. 8 x 1. 2 t

(A 6063 S-T 5)

前枠 63.5×61.4×1.0t
(A6005CS-T5)

奥行 (mm)	最大高さ H 1 (mm)	梁下高さ H 2 (mm)	軒下高さ H 3 (mm)	基礎深さ h (mm)	基礎幅 L x 1 (mm)	基礎奥行 L y 1 (mm)
0 8 3	2 1 3 8	1 9 5 6	1 9 0 0	7 0 0	7 0 0	1 2 0 0



事務所登録 東京本部
一級建築

建設業土木事務所			工事名称	古谷地区公立保育所新築外構工事
事務所 東京都知事登録 第22736号			作成	承認

9 アルミ形材屋根

四国化成「VFC-(A) 2131MR 600N/m²仕様 オープンタイプ」同等品
雨樋用落ち葉ネット 2箇所、LED照明(AC100V 3.0W)付
※国土交通省告示408・409・410(750)号適合品とする。

主 要 部 材	仕 様 (材 質・塗 装)
1 支柱	アルミ押出形材(認定番号:NM-3044) 陽極酸化・塗装複合皮膜
2 昇り梁	アルミ押出形材(認定番号:NM-3044) 陽極酸化・塗装複合皮膜
3 母屋	アルミ押出形材(認定番号:NM-3044) 陽極酸化・塗装複合皮膜
4 前枠	アルミ押出形材(認定番号:NM-3044) 陽極酸化・塗装複合皮膜
5 後枠	アルミ押出形材(認定番号:NM-3044) 陽極酸化・塗装複合皮膜
6 側枠	アルミ押出形材(認定番号:NM-3044) 陽極酸化・塗装複合皮膜
7 屋根押え	アルミ押出形材(認定番号:NM-3044) 陽極酸化・塗装複合皮膜
8 繼樋	アルミ押出形材(認定番号:NM-3044) 陽極酸化・塗装複合皮膜
9 屋根材	アルミ押出形材(認定番号:NM-3044) 陽極酸化・塗装複合皮膜

プール本体特記仕様書			
規格	プールサイズ(呼称:全幅×全長)	3.5×4.5	m
水深:	0.55		m
水面積:	10.4		m2
容量:(水深550mmの場合)	5.2		m3
本体重量:	320		Kg

材質	FRP(Fiberglass Reinforced Plastics): 不飽和ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化したもの
----	--

成形法	ハンドレイアップ法
-----	-----------

各部構造	内壁、外壁	FRP単板構造
	床	サンドイッチ構造(芯材 硬質発泡体)

付属部品	1	手摺	SUS304	2	セット
	2	昇降階段	FRP製	2	ヶ所
	3	ハッチ	FRP製	1	ヶ所
	4	プールカバー	シーズン用	1	セット
	5	プールカバー	保管用	1	セット

配管部品	1	排水口	BSC Rc80A(50A 2ヶ所)	1	個
	2	オーバーフロー金具	BSC Rc50A	1	個
	3	給水口ボックス	HIVP管 40A	1	個

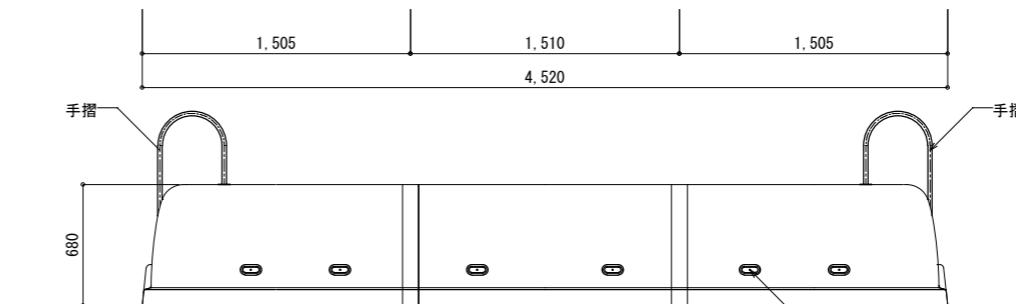
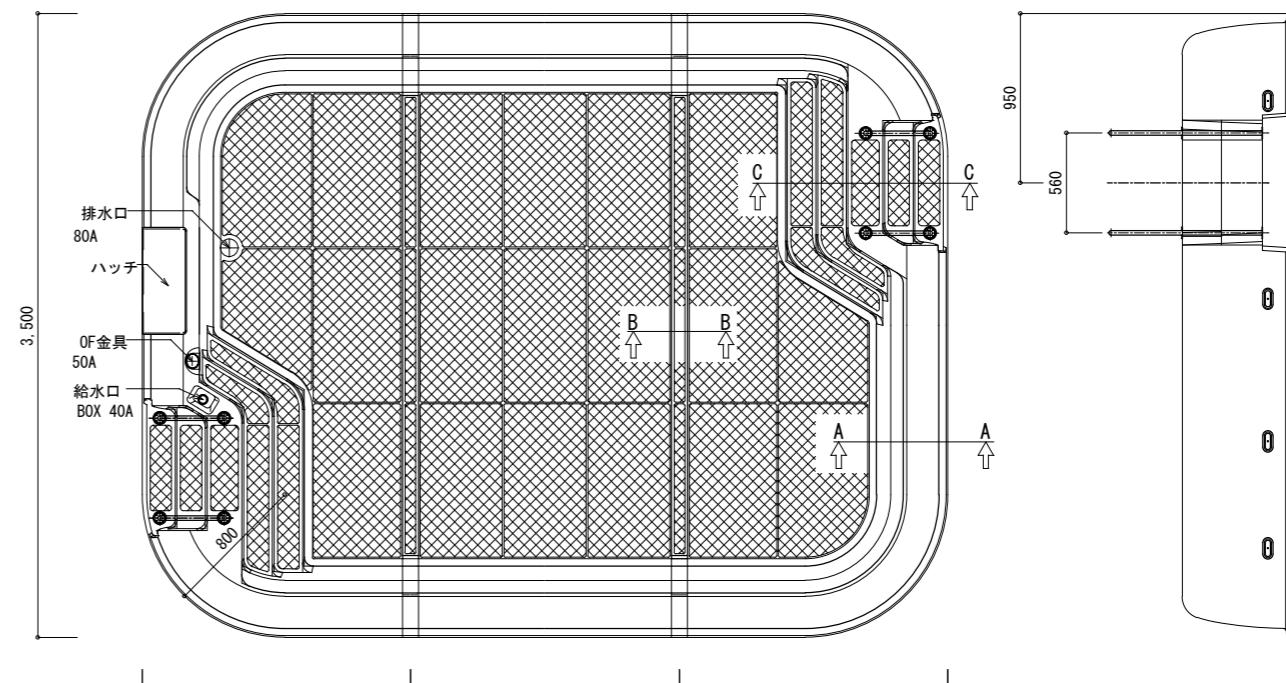
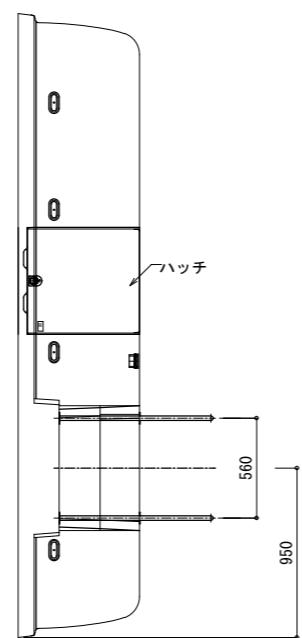
塗装	ゲルコート(顔料を含んだポリエステル樹脂塗料)仕上げ(工場製作)	
	1 内壁、床	ペールブルーコート7(水色)
	2 外壁	グリニッシュイエローコート1(黄色)

別途工事 (プール本体取合工事)	1	プール土間工事(材・工共)
	2	据付用基礎墨出し工事(材・工共)
	3	排水 配管工事(材・工共)
	4	給水 配管工事(材・工共)

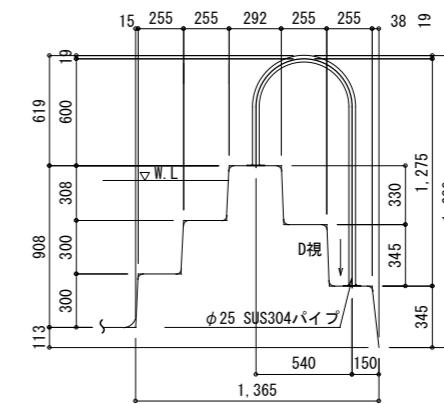
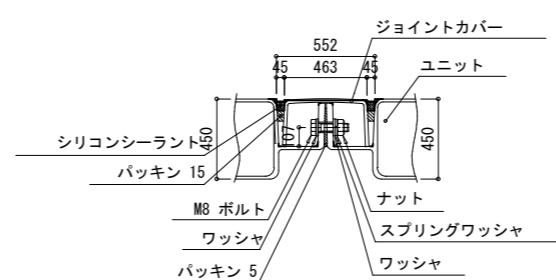
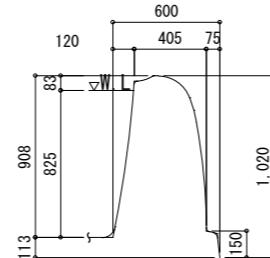
用語説明	ハンドレイアップ法	型の表面に製品色となるゲルコートを吹付硬化後、その上にガラス繊維を置き、これに成形樹脂を含浸させて硬化後型から外して得る成形法
	BSC	黄銅鋳物
	Rc	管用テーパームねじ

3.5×4.5 モデル 1/30

※ただしプールサイズは組立誤差や温度変化により膨張・収縮が生じます。



ユニット名称	ユニット重量
ユニット, 1	102kg
ユニット, 2	115kg
ユニット, 3	87kg



A-A断面

側壁断面詳細図 (S=1/20)

B-B断面

ユニット接合断面 (S=1/5)

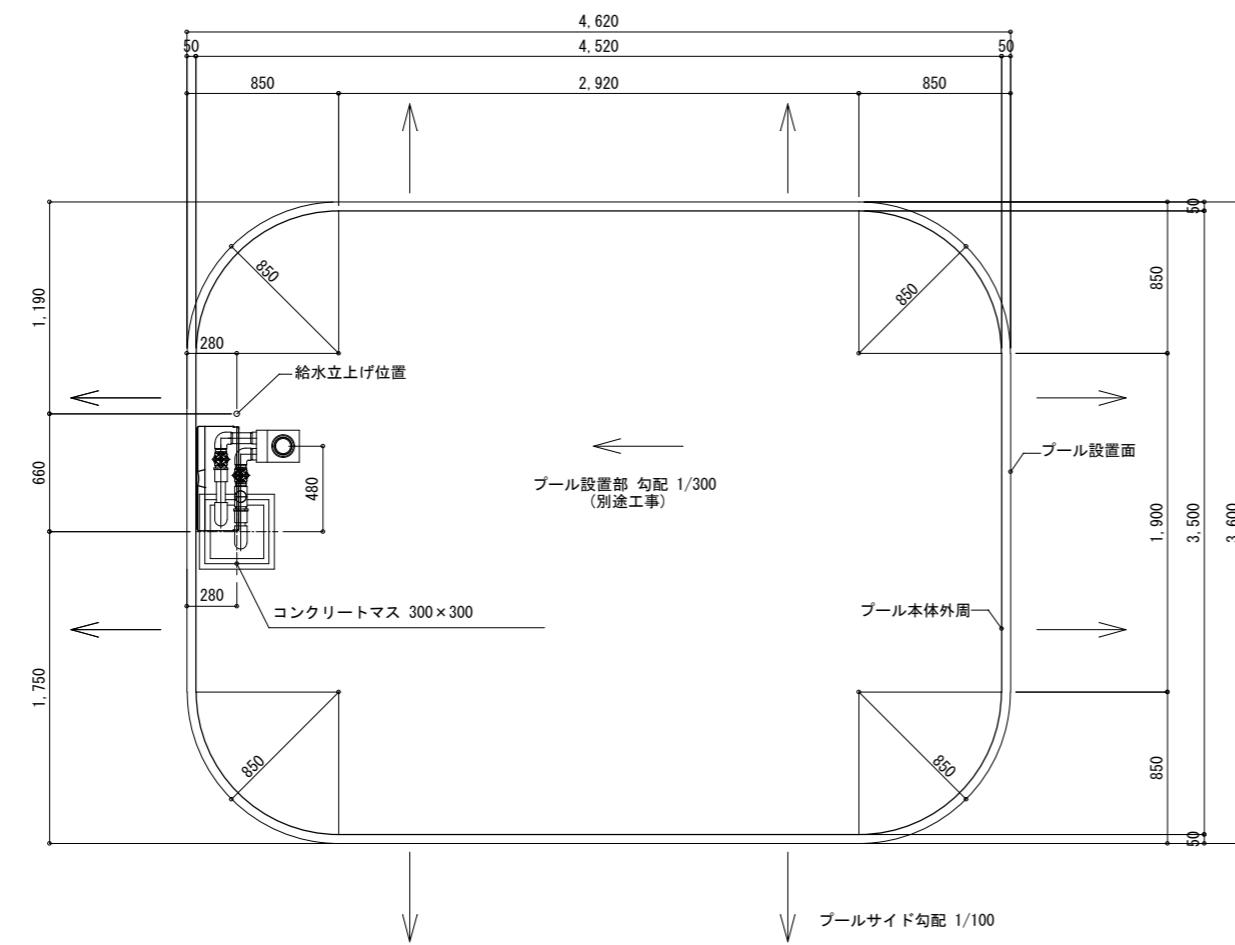
C-C断面

階段部基本断面 (S=1/2)

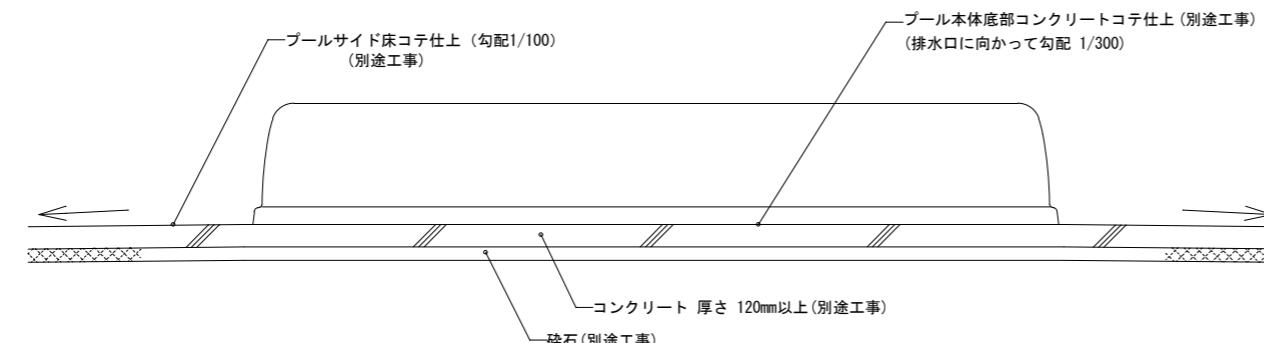
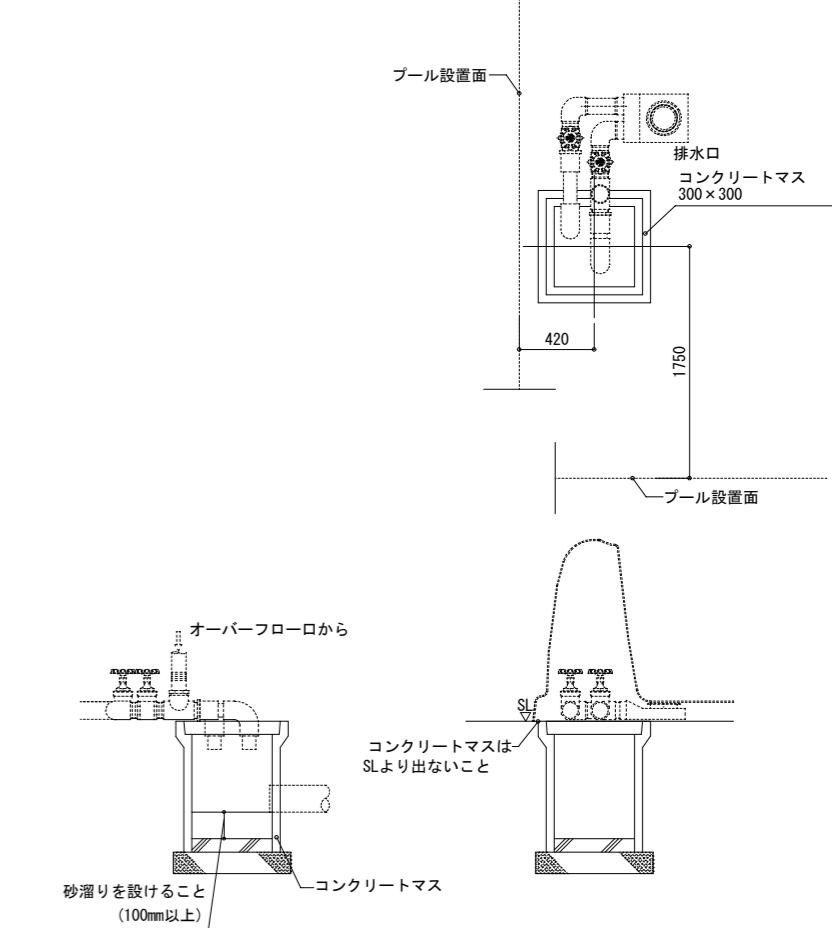
D視図

手摺取付要領 (S=1/5)

設置図 1/30



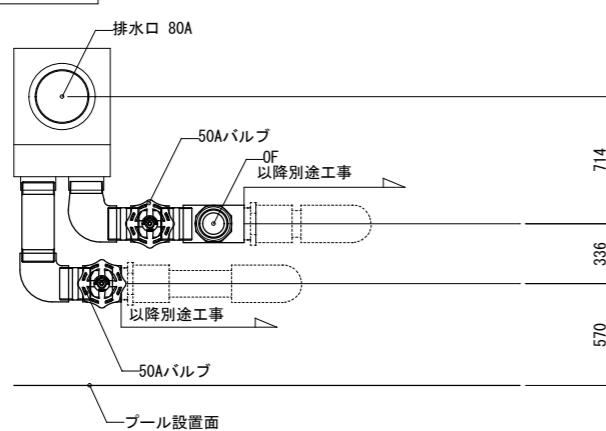
排水桿詳細図 1/20



建築工事条件

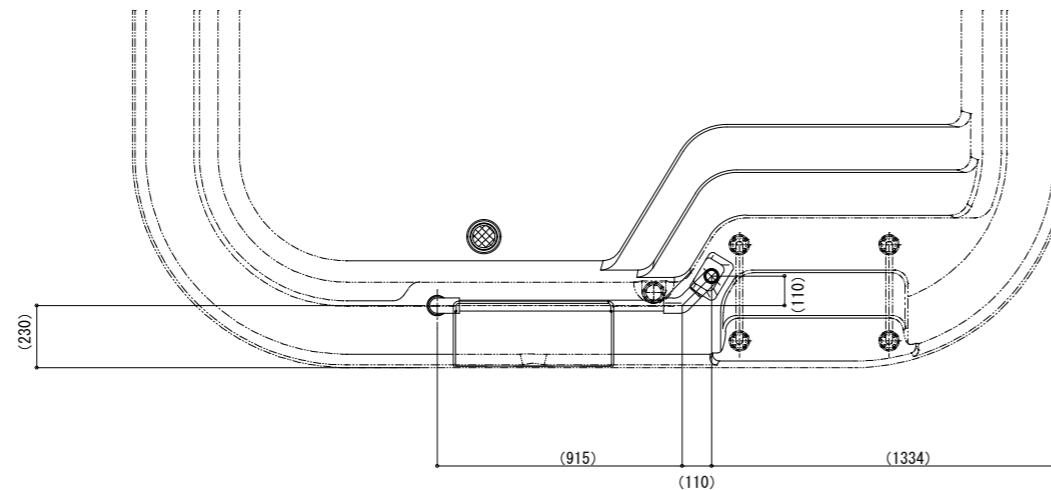
- 1 長期地耐力30kN/m² (3t/m²) 以上の不同沈下をおこさない地盤であること。
- 2 プール設置場所50m以内まで4トン車の通行が可能で、且つ、ユニット設置場所まで3.0m巾以上資材搬入路を確保の事。
- ◇ 給水設備
 - 1 専用給水口ボックスより給水
 - ◇ 屋上設置注意事項
 - 1 設計基準に基づく構造上充分な耐力があること。
 - 2 排水管及び給水管取合いには充分注意すること。
 - 3 強風時プール固定のため満水にすること。
 - 4 既存の屋上に計画する場合、勾配等に問題がある場合は、コンクリート等で勾配1/300とすること。

排水接続部詳細図 1/10

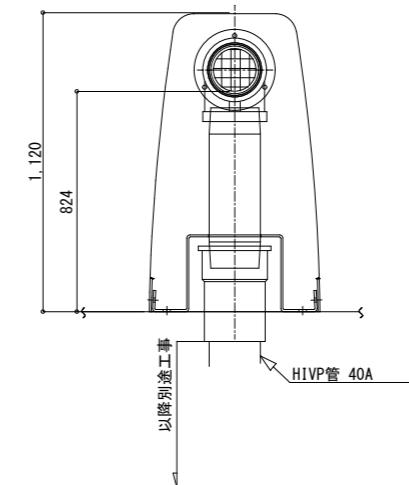
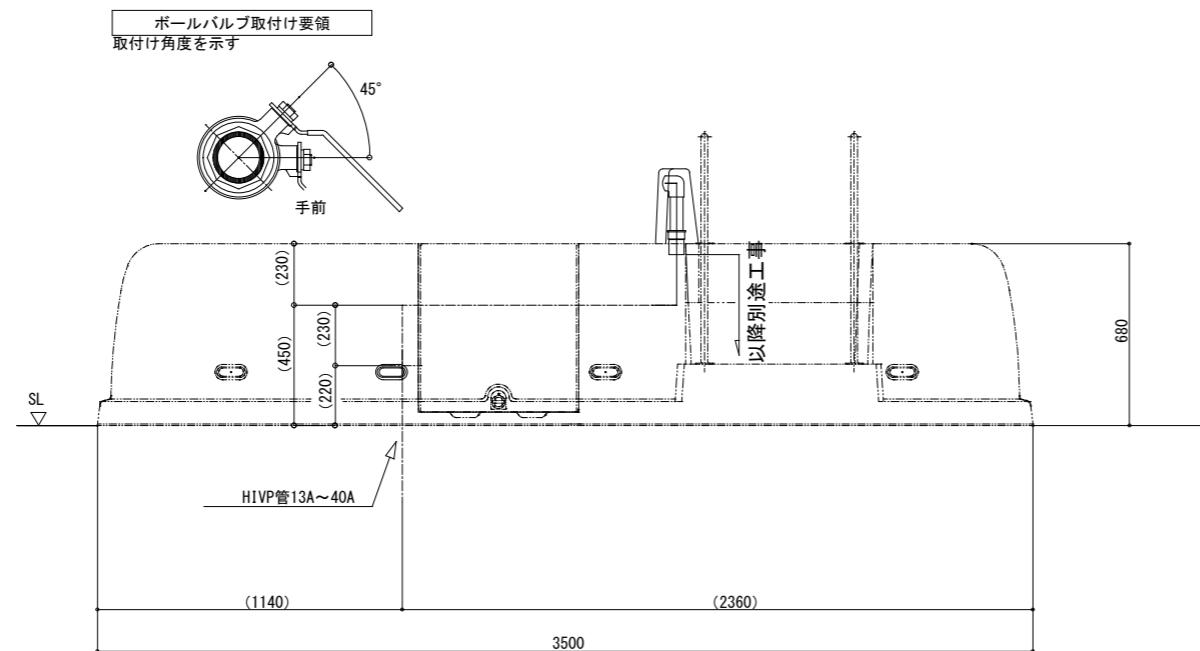


月 日	事 務	事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築外構工事	図面名称	プール設置図	縮尺	図示	図面No.	
年	月	日	設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法造合規結果等		作成	承認	部長	課長	担当	製図	設計No.

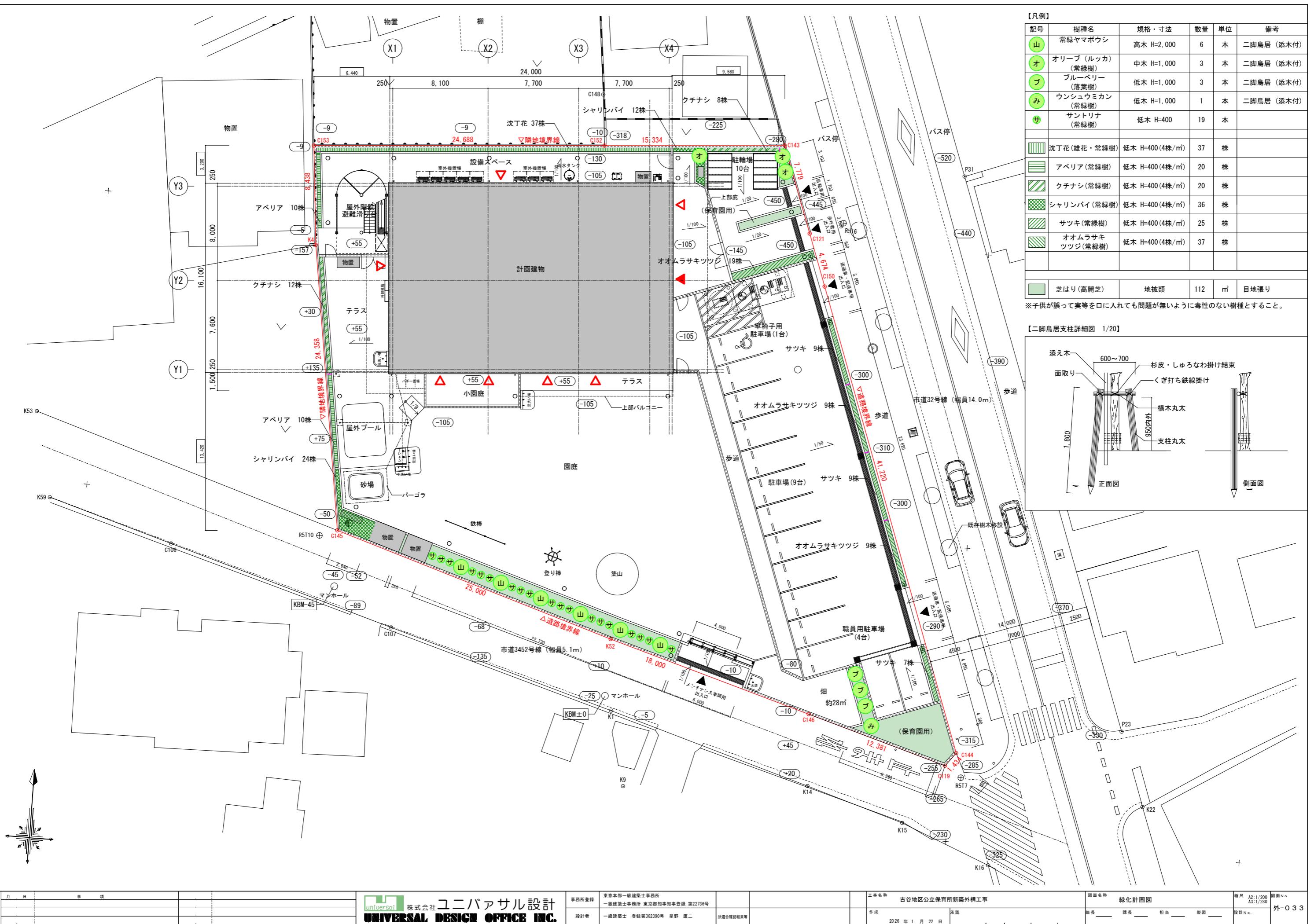
給水口ボックス取付図 1/20
注1) ()寸法は、参考寸法とする。

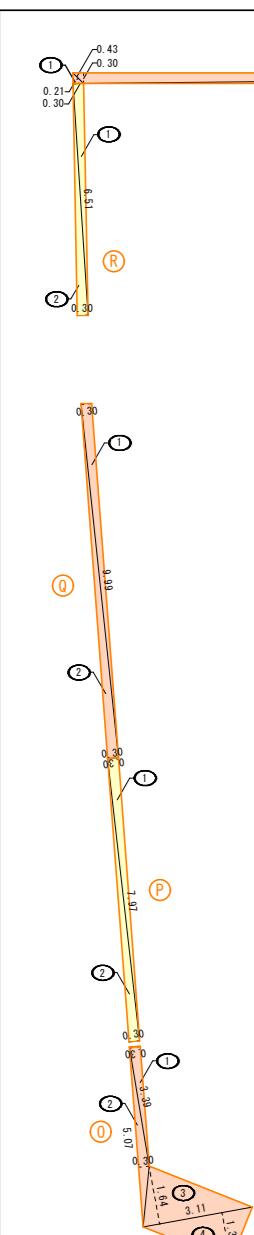


給水口ボックス詳細



月 日	事 項	事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築外構工事	図面名称	プール給水口ボックス	縮尺	図示	図面No.	
年	月	日	設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法造合規結果等		作成	承認		部長	課長	担当	製図

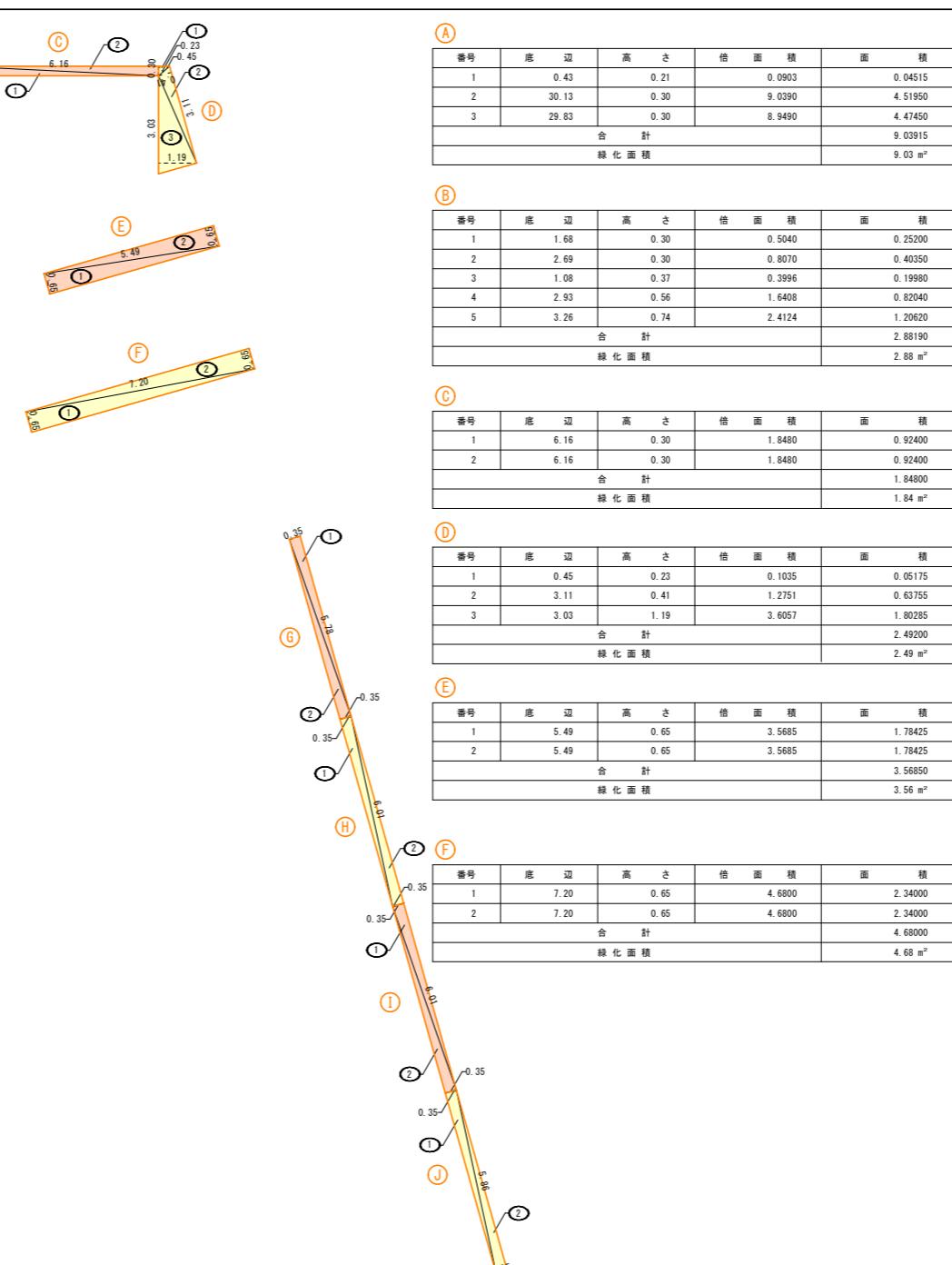




敷地面積	1925.16m ²
建蔽率	70.00%
用途地域	指定なし

【緑化面積】	
必要緑化面積	481.290 m ²
計画緑化面積	127.85 m ² ①～⑧を合計
判定…NG	
緑化面積算定式	
① 樹木による緑化	
A : 樹木植栽土壤地盤	111.73 m ²
B : 4.0m≤H	0 本
C : 2.5m≤H<4.0m	0 本
D : 1.0m≤H<2.5m	13 本
E : H<1.0m	177 本
計	111.73 m ² 樹木植栽土壤地盤面積≤樹木面積
②-1 地被類による緑化(樹木による緑化と同一区画)	
地被類緑化	111.73 m ²
計	0.00 m ² 樹木植栽土壤地盤面積≤樹木面積
②-2 地被類による緑化(地被類のみによる区画)	
地被類緑化	0.33 m ²
計	0.29 m ² 地被類緑化面積×0.9
③ 草花による緑化	
草花緑化	0.00 m ²
計	0.00 m ² 草花緑化面積×0.9
④ グル植物	
ア 补助支持部材あり	0.00 m ²
イ 补助支持部材なし	0.00 m ²
計	0.00 m ²
⑤ 駐車場緑化	
駐車場緑化	0.00 m ²
計	0.00 m ² 駐車場緑化面積×0.5×0.9
⑥ 太陽光発電による緩和	
太陽光発電	51.20 m ²
計	15.83 m ² ①～⑥の算定面積の1/4を上限とする
⑦ 生垣による緑化	
樹高	0.00 m
生垣長	0.00 m
計	0.00 m ² ①の算定に利用した樹木は除く
⑧ 樹高4m以上の樹木による緑化	
樹高	0.00 m
本数	0 本
計	0.00 m ² ①⑥の算定に利用した樹木は除く

【接道緑化】	
接道部	110.49 m
出入口長さ	20.70 m
必要接道距離	55.24 m 「接道部距離×1/2」と「接道部-出入口長さ」の短い方
計画接道距離	23.62 m
【樹木(2.5m≤成木時H)植栽本数】	
必要樹木本数	6 本
計画樹木本数	0 本



番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	0.43	0.21	0.0903	0.04515
2	30.13	0.30	9.0390	4.51950
3	29.83	0.30	8.9490	4.47450
合計			9.03915	9.03 m ²
緑化面積				

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	1.68	0.30	0.5040	0.25200
2	2.69	0.30	0.8070	0.40350
3	1.08	0.37	0.3996	0.19980
4	2.93	0.56	1.6408	0.82040
5	3.26	0.74	2.4124	1.20620
合計			2.86190	2.88 m ²
緑化面積				

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	6.16	0.30	1.8480	0.92400
2	6.16	0.30	1.8480	0.92400
合計			1.84800	1.84 m ²
緑化面積				

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	0.45	0.23	0.1035	0.05175
2	3.11	0.41	1.2751	0.63755
3	3.03	1.19	3.6057	1.80285
合計			2.49200	2.49 m ²
緑化面積				

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	5.49	0.65	3.5685	1.78425
2	5.49	0.65	3.5685	1.78425
合計			3.56850	3.56 m ²
緑化面積				

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	7.20	0.65	4.6800	2.34000
2	7.20	0.65	4.6800	2.34000
合計			4.68000	4.68 m ²
緑化面積				

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	17.16	1.64	28.1424	14.07120
2	17.16	1.64	28.1424	14.07120
3	5.88	1.58	9.2904	4.64520
4	5.88	1.58	9.2904	4.64520
合計			37.43280	37.43 m ²
緑化面積				

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	1.67	0.20	0.3340	0.16700
2	1.67	0.20	0.3340	0.16700
合計			0.33400	0.33 m ²
緑化面積				

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	3.39	0.30	1.0170	0.50850
2	5.07	0.30	1.5210	0.76050
3	3.11	1.64	5.1004	2.55020
4	3.11	1.39	4.3229	2.16145
合計			5.98065	5.98 m ²
緑化面積				

| 番号 | 底辺 | 高さ | 倍面積 |
<th
| --- | --- | --- | --- |